2021年 8月 27日

東京都知事殿

住 所 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号

氏 名 株式会社 新都市ライフホールディングス 代表取締役社長 安達 勝 (法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

地球温暖化対策報告書提出書

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第8条の23 (第1項)の規定により 地球温暖化対策報告書を次のとおり提出します。

	= //• / • • • • • • • •	/14 11/	株式会社 新都市ライフホールディングス
	氏名(法人にあっ称及び代表者の氏		代表取締役社長 安達 勝
	球温暖化対策事		〒 163−6010
0	室効果ガス排出事住所(法人にあったる事務所の所在	ては	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
地	球温暖化対策報	告 書	別添のとおり
連	絡	先	安心安全総合推進室 担当:福士 千晴 電話番号 03-5323-2325 fukushi-c@nul.co.jp
※受	· 付欄		
			(事業者番号: A0873)

1 事業者の氏名等

 事業者の氏名株式会社新都市ライフホールディングス

 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)代表取締役社長 安達勝

 事業者番号A0873

2 報告する事業所等の全体の状況(2020年度の状況)

条例第8条の23第1項 報 告 事 業 所 数			原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計		kl
条例第8条の23第2項 報 告 事 業 所 数	9	事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	64	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	14,174	t
------------	--------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等		義務提出事業所等		全事業所
----------	--	----------	--	------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

					2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
合	計二個	酸化炭	素排片	出量	17,158.00	15,448.00	14,978.00	14,437.00	14,174.00	t
合	計	延床	: 面	積	143,227.36	141,073.23	141,243.33	142,497.53	143,730.82	m²
合	計	原	単	位	119.79554	109.50341	106.04394	101.31403	98.61489	kg-CO ₂ /m²

平均合計二酸化炭素排 出 量 削 減 率	4.66	%
平均合計原単位改善率	4.74	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

	111	7 111	ш.	1 / *	١	12/13/13 T /K//13/// O D1	<u> </u>
再利	生 可 用		ェネ 業		: 数	0	事業所
再利	生 可 用		ェネ 業		塚 [0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価	SS	ランク
-----------------	----	-----

8	実績年	度の	目標	達成	の米え	뮸
O		/マッノ	$\mathbf{H}^{\prime\prime}$	ナールな	マンカハイ	ノレ

実 績 年 度 の 目標達成した。

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目	標	の	有	無		有		無					
合言	合計二酸化炭素排出量削減率												
合	計	原	単(立	汝	善率	等 率 1						
再 2	生可能	エネ	ルギー	- 導力				%					
そ			の			特記事項	質に内容を	記載					

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル 1

11 事業者としての取組

取組方針

CSR推進委員会及びCSR推進室を社内に設置、当社が定める環境活動を実施する。 年に2回委員会を開催し、前年度の検証と当年度の目標設定を行うこととした。エネル ギーの使用に関しては、改正省エネ法に準拠し、原単位で年平均1%以上の削減を目 標とする。

		重点対策	その他対策					
	対策番号	対策名	対策番号	対策名				
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築				
組織体制の	A102	温暖化対策推進担当の配置	A106	本社等による支店の支援				
整備の状況	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A107	排出状況の整理・分析・提供				

12 特記事項

引き続き営業に支障のない範囲で節電を継続していくことを確認した。 具体的な対策については、各事業所ごとに実施することとした。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	宇泽	非木	台シ	゚ヺツ	ピン	グプ	゚゚ラザ	2												
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	0	1										
					₹	1	9	2	_	0	0	2	3	区	市	町	村。	名丿	王	子市				
事	業所	等の	所在	地	町以	名 番	· 地 下	久保	¦山町															
事	業所等	等の3	延床面	ī積		2	,945	.00	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の 	実 <i>終</i> 使	漬 [年 		か 間	1	年度	分] 1 ⁴	F未満
所	有		形	態		自己	所	钉		〕他	1者列	桁												
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	ーナ	ント	·)			建	物の-	一部	(そ	の他	1)
和	告範囲	I Ø 🕇	ナカスH	田公		□ 事務所 ■ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲								次食)									
平区	口軋匠	リマノエ	ニバンカ	7 0匹		工場	1 7					複合	施	没					その	の他				
に	本 標 おける	細	分類番	号	6	9	1	1			/事業	美区 2	分		Œ	直営	店		コカ	加盟尼	ij		▮非	該当
再の	生可能	もエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電			証書に の利用		環境	き価値	直
前か	年度らの			容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	277	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	539	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	542	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	183.0	$kg-CO_2/m^2$

	, , , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , </u>	田東子小川	推計		法田县	开 业。	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(C) (D=8)×9×44/12
.[4]	都市ガス			Nm^3	5,057.5	45.00	227.6	0.0136	11.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
#\\	*** その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	1,080,454.0	9.76	10,545.2	0.4890	528.3
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 10,772.8		¹⁵ 539.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,988.0	/		0.2660	1.6
他	. 17 11 一 1 7 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			m^3	5,988.0			0.4000	2.4
		合 計							4.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2 %(V 11111 F/Z	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

	地球温暖化对床	CAN DOWN	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
\ \v_ \	サード カーボール サール	A204	取組状況の点検体制の構築		
水土 7	職体制の整備				
ļ_ ,	ネルギー等の	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
使力	ポポーッの用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	運用対策				
省工					
 ネ					
ル					
ギー					
	設備保守対策				
策	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

エネルギー消費設備はテナント持込み資産。テナントの取組状況をヒアリングする体制は構築.。 (テナント実施対策メニュー:B101、B106、C602、C603、C612、C615、D101、D102、D104、D105) テナントに対して節電への対策を依頼したところ、照明の間引き、冷房温度の引き上げ等の対策を実施している旨の回 答があった。

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	鶴月	川台	ショ	ッピ、	ング・	セン	ター									
業	所	番	号	А	0	8	7	3		0	0	0	2						
				₹	1	9	5	_	0	0	5	7	瓦 区	· 打町村	寸 名	町田市			
業所	等の	の所在地町名番地以下 真光寺1-24-1及び25-1																	
業所等	争の変	延床面	ī積		9	,767	.64	m^2					実 績 使	責 年 度 用 期	ぜの 間		Ì	□ 1 ²	年未満
有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁								
告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)	[□ 建物の一	部(>	その化	也)
生 猝 囲	$D \rightarrow$	たる日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	7販)		□ 商業施設	(飲:	食)	
口軋团	リリナ	につけ	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施調	没			□ その他			
おける	細り	う類 番	号	6	9	1	1			(事)	美区 2	分		直営店	ち	□ 加盟店		■ 身	丰該当
生可能	とエノ 用	ネルキ 状	· 況						_					ルギー	電	□ 証書に。 の利用	よる環	境価	値
			容点																
	業業告本お生年業所有毎標でで <td< td=""><td>業 所 等 の 発 無 本 お 生 年 本 お 生 年 本 お 生 年 年 か ま 産 か ナ 可 利 度 の ま 産 か ま 産 か ま 産 か ま 産 か ま ま ま ま ま ま ま ま</td><td>業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 面 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 月 番 標 る 細 エ エ ス 子 番 さ ス 子 番 キ は フ 報 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 も 内 M 番 も 内 M 番 も 内 M M M M M M M M M M M M M M M M M M</td><td>業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分取手 生可能用 と 業類等 生可能用 またる な またる は で またる を またる を またる を またる を またる の またる として の またる として の またる として の またる として の またる として の またる として の またる として として の またる として として の またる として として の またる として として として として として をして として として として として として として として として として と</td><td>業所番号A 業所等の所在地 業所等の所在地 以 業所等の延床面積 素所等の延床面積 香 題</td><td>業所番号A 0 末所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 9 有 形 態 ■ 自己 告 範 囲 ■ 建物 告 範囲の主たる用途 □ 事務 本標準産業分類 6 9 生可能エネルルス □ 再生 和 別 用 状 沢 □ 再生</td><td>業所番号A 0 8 業所等の所在地 「 1 9 町以 名番地下</td><td>業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「 1 9 5 町以 2 番 地 以 3 番 地 以 9,767.64 有 形 態 自己所有</td><td>業所番号A 0 8 7 3 業所等の所在地 T 1 9 5 - T 1 9 5 - T 3 要</td><td>業所番号A 0 8 7 3 - 〒 1 9 5 - 0 1 1 9 5 - 0 1 1 9 5 - 0 1 1 9 5 - 0 1 1 1 車鎖(1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を</td><td>業所番号A0873-00 業所等の所在地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番</td><td>業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 ま 所等の所在地</td><td>業所等の所在地 〒 1 9 5 - 0 0 0 5 7 業所等の所在地 町名番地 以 事業所等の 東大寺1-24-1及び25-2 業所等の延床面積 9,767.64 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(ラ 連物の一部(ラ 本標準産業分類 6 9 1 1 連鎖化事業区分 本標準産業分類 6 9 1 1 連鎖化事業区分 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー 月生可能 気の受入 年度の報告内容</td><td>業所番号A0873-00002 業所等の所在地 T 195-100057 区 T</td><td>業所番号A0873-00002 業所等の所在地 「195-195-1 業所等の所在地 「195-195-1 業所等の延床面積</td><td>業所番号A0873-0002 業所等の所在地 「T 195-1-24-1及び25-1 業所等の延床面積 9,767.64 m² 事業所等の実績年度の</td><td>業所番号A0873-0002 〒 195-005-1 195-1-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び</td><td>業所番号A0873-0002 業所等の所在地 町 名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地</td><td>業所番号A0873-00002 ***</td></td<>	業 所 等 の 発 無 本 お 生 年 本 お 生 年 本 お 生 年 年 か ま 産 か ナ 可 利 度 の ま 産 か ま 産 か ま 産 か ま 産 か ま ま ま ま ま ま ま ま	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 面 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 月 番 標 る 細 エ エ ス 子 番 さ ス 子 番 キ は フ 報 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 告 内 番 も 内 M 番 も 内 M 番 も 内 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分取手 生可能用 と 業類等 生可能用 またる な またる は で またる を またる を またる を またる を またる の またる として の またる として の またる として の またる として の またる として の またる として の またる として として の またる として として の またる として として の またる として として として として として をして として として として として として として として として として と	業所番号A 業所等の所在地 業所等の所在地 以 業所等の延床面積 素所等の延床面積 香 題	業所番号A 0 末所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 9 有 形 態 ■ 自己 告 範 囲 ■ 建物 告 範囲の主たる用途 □ 事務 本標準産業分類 6 9 生可能エネルルス □ 再生 和 別 用 状 沢 □ 再生	業所番号A 0 8 業所等の所在地 「 1 9 町以 名番地下	業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「 1 9 5 町以 2 番 地 以 3 番 地 以 9,767.64 有 形 態 自己所有	業所番号A 0 8 7 3 業所等の所在地 T 1 9 5 - T 1 9 5 - T 3 要	業所番号A 0 8 7 3 - 〒 1 9 5 - 0 1 1 9 5 - 0 1 1 9 5 - 0 1 1 9 5 - 0 1 1 1 車鎖(1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	業所番号A0873-00 業所等の所在地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 ま 所等の所在地	業所等の所在地 〒 1 9 5 - 0 0 0 5 7 業所等の所在地 町名番地 以 事業所等の 東大寺1-24-1及び25-2 業所等の延床面積 9,767.64 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(ラ 連物の一部(ラ 本標準産業分類 6 9 1 1 連鎖化事業区分 本標準産業分類 6 9 1 1 連鎖化事業区分 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー 月生可能 気の受入 年度の報告内容	業所番号A0873-00002 業所等の所在地 T 195-100057 区 T	業所番号A0873-00002 業所等の所在地 「195-195-1 業所等の所在地 「195-195-1 業所等の延床面積	業所番号A0873-0002 業所等の所在地 「T 195-1-24-1及び25-1 業所等の延床面積 9,767.64 m² 事業所等の実績年度の	業所番号A0873-0002 〒 195-005-1 195-1-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び25-1 195-24-1及び	業所番号A0873-0002 業所等の所在地 町 名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地	業所番号A0873-00002 ***

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	455	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	884	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	4	t
	総計(④=②+③)	4	888	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	90.5	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		// H F	1 Nr.1	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,528.3	45.00	158.8	0.0136	7.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
700	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,792,844.0	9.76	17,498.2	0.4890	876.7
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽⁴⁾ 17,656.9		⁽¹⁵⁾ 884.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	7,431.0	/		0.2660	2.0
他	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			m^3	7,431.0	/		0.4000	3.0
		合 計				/			¹⁶ 4.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

<u> </u>	地球温暖化对床	CV JCNEW	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
√ □ √	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築		
水土	戦性制の発掘				
<u></u> ،	ネルギー等の	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
使	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	運用対策				
/J>					
省工					
ネ					
ルギ					
]					
対策	設備保守対策				
	ISC MID MIC 3 NO NIC				
	設備導入対策				
<u> </u>				l	

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の角無	□□有 □■□無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		-

6 特記事項

エネルギー消費設備はテナント持込み資産。テナントの取組状況をヒアリングする体制は構築。 (テナント実施対策メニュー:B101、B106、C101、C202、C602、C612、D101、D104、D105) 節電対策をテナントにヒヤリングしたところ、照明の間引き、冷房温度の引き上げ等の対策を実施中との回答があった。

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	八三	E子	みな	み	野シ	ティ	ショッ	ノピン	/グ`	セン	ター							
業	所	番	号	А	0	8	7	3		0	0	0	3								
				₹	1	9	2	_	0	9	1	6	区	† 町	村名	八三	E子市				
業所	等の	所在	地	町。以	名 番	F 地 下	みな	み野	1-8	3-1											
業所等	多の多	延床面	ī積		29	,512	.92	m^2									1年度	度分] 1 ⁴	年未満
有		形	態		自己	1所1	有] 他	1者原	桁										
告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の)一部	3(そ	の他	1)
生 兹 丽	\rightarrow	・たて日	1 冷		事務	丽					商業	纟施言	没(物	加販)			商業施	設(f	飲食	:)	
古軋曲	り 土	こにつり	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	没				その他	ı			
おける	細り	分類 番	号	6	9	1	1	連	鎖化	と事 き							加盟	店		非	該当
生可能	とエノ 用	ネルキ 状	· 況						_		再生 気の	可能受入	ニスネ	ルギ	一電				環境	竟価値	直
			容点																		
	業業告本お生年業所有告囲標ででののののまのののののよのののののよののののののよのののののののよのの </td <td>業 所 等 の 発 無 本 お 生 年 本 お 生 年 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年</td> <td>業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形</td> <td>業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分れ状 生可能用 年度の報告内容</td> <td>業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 業所等の延床面積 素所等の延床面積 香塩囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</td> <td>業所番号A 0 業所等の所在地 町以 29 大田 1 町以 29 大田 1 町以 29 大田 1 町以 4 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世</td> <td>業所番号A 0 8 業所等の所在地</td> <td>業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「□ 1 9 2 町以 4 番 地 以 業所等の延床面積 29,512.92 素所等の延床面積</td> <td>業所番号A 0 8 7 3 業所等の所在地 以 29,512.92 m² 業所等の延床面積 29,512.92 m² 有 形態 自己所有 日</td> <td>業所番号A 0 8 7 3 - 〒 1 9 2 - 0 1 1 9 2 - 0 1 1 9 2 - 0 1 1 9 2 - 0 1 1 1 車鎖(1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を</td> <td>業所番号A 0 8 7 3 - 0</td> <td>業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 業所等の所在地</td> <td>業所等の所在地 デ 1 9 2 - 0 0 0 0 業所等の所在地 町名番地 以 *** ** ** ** ** ** ** ** **</td> <td>業所番号A0873-0003 業所等の所在地 T 192-10916区 T 192-10916区 T 29,512.92 m² 事業所等の実務</td> <td>業所番号A0873-0003 業所等の所在地 T 192-00916 区市町 以 4 番 地 以 5 番 地 以 5 番 地 以 7 番 地 以 8 番 地 以 7 番 地 以 8 番 地 以 7 番 地 以 8 番 が 8 番 が 9</td> <td>業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 3 業所等の所在地 「 1 9 2 - 0 9 1 6 区市町村名 町 29,512.92 m² 事業所等の実績年度の</td> <td>業所番号A0873-0003 業所等の所在地 「192-192 m² 事業所等の実績年度の 「エネルギー使用期間 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 数 は</td> <td>業所番号A0873-0003 〒 1 9 2 - 0 9 1 6 区市町村名 八王子市町</td> <td>業所番号A0873-0003 業所等の所在地 町名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以</td> <td>業所番号A0873-00003 ***</td> <td>業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 3 〒 1 9 2 - 0 9 1 6 区市町村名 八王子市 町名番地以 かなみ野1-8-1 事業所等の延床面積 29,512.92 m² 事業所等の実績年度の 14 14 15 15 16 16 17 17 17 17 17 17</td>	業 所 等 の 発 無 本 お 生 年 本 お 生 年 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分れ状 生可能用 年度の報告内容	業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 業所等の延床面積 素所等の延床面積 香塩囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	業所番号A 0 業所等の所在地 町以 29 大田 1 町以 29 大田 1 町以 29 大田 1 町以 4 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世 1 世	業所番号A 0 8 業所等の所在地	業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「□ 1 9 2 町以 4 番 地 以 業所等の延床面積 29,512.92 素所等の延床面積	業所番号A 0 8 7 3 業所等の所在地 以 29,512.92 m² 業所等の延床面積 29,512.92 m² 有 形態 自己所有 日	業所番号A 0 8 7 3 - 〒 1 9 2 - 0 1 1 9 2 - 0 1 1 9 2 - 0 1 1 9 2 - 0 1 1 1 車鎖(1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	業所番号A 0 8 7 3 - 0	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 業所等の所在地	業所等の所在地 デ 1 9 2 - 0 0 0 0 業所等の所在地 町名番地 以 *** ** ** ** ** ** ** ** **	業所番号A0873-0003 業所等の所在地 T 192-10916区 T 192-10916区 T 29,512.92 m² 事業所等の実務	業所番号A0873-0003 業所等の所在地 T 192-00916 区市町 以 4 番 地 以 5 番 地 以 5 番 地 以 7 番 地 以 8 番 地 以 7 番 地 以 8 番 地 以 7 番 地 以 8 番 が 8 番 が 9	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 3 業所等の所在地 「 1 9 2 - 0 9 1 6 区市町村名 町 29,512.92 m² 事業所等の実績年度の	業所番号A0873-0003 業所等の所在地 「192-192 m² 事業所等の実績年度の 「エネルギー使用期間 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 数 は	業所番号A0873-0003 〒 1 9 2 - 0 9 1 6 区市町村名 八王子市町	業所番号A0873-0003 業所等の所在地 町名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以	業所番号A0873-00003 ***	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 0 3 〒 1 9 2 - 0 9 1 6 区市町村名 八王子市 町名番地以 かなみ野1-8-1 事業所等の延床面積 29,512.92 m² 事業所等の実績年度の 14 14 15 15 16 16 17 17 17 17 17 17

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 8	75 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1,6	99 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	7 t
	総計(④=②+③)	4 1,7	06 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57	$7.5 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

					使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用里	() () ()	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			12/13		6	7	8=(6/1000)×7	9	(10)=(8)×(9)×44/12
484	都市ガス			Nm^3	3,191.9	45.00	143.6	0.0136	7.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
75%	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	3,460,746.0	9.76	33,776.9	0.4890	1,692.3
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 33,920.5		1,699.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	10,946.0			0.2660	2.9
他	公共下水道			m^3	10,946.0	/		0.4000	4.4
		合 計				/			7.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2 %(V 11111 F/Z	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

4	地球温暖化对策	り天地や			
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
∀ п «	かみまる軟件	A204	取組状況の点検体制の構築		
和上作	職体制の整備				
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
工	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
(元)	用状況の把握				
	運用対策				
415	ZE 714 714 714				
省工					
コネ					
ル					
ギー					
対策	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		-

6 特記事項

エネルギー消費設備はテナント持込み資産。テナントの取組状況をヒアリングする体制は構築。

(テナント実施対策メニュー:B101、B106、C101、C109、C202、C602、D104、D105) 三和および山梨中央銀行に対して、冷房温度の引き上げ、照明の間引き等の節電対策を依頼した。三和及び山梨中央銀行からは本社からの指示に従い、節電のための対策をすでに実施している旨の回答があった。

1 事業所等の概要

	7 / 1 7/																			
事	業所	等	の名	称	新行	官ア.	イラ、	ンドク	タワー	−(B	3120	5区	画)							
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	0	4						
					Ŧ	1	6	3	_	1	3	9	0	区ī	市町村:	名 新宿日	<u>X</u>			
事	業所	等 0	所在	地	町。以	名 番	* 地 下	西新	宿6	-5-	-1 🤻	新宿	アイラ	ランド	タワーB1F	`				
事	業所等	等の)	延床面	積			118	.24	m^2		業 戸 ネ ノ					の 間 ■ 1	l年度分] 1 ^左	F未満
所	有	•	形	態		自己	1所1	有		■他	1者月	沂有								
報	告	1	範	囲		建物	カの 🖆	全部		■ 建	物の)—‡	郭(ラ	ーナン	/ト)	□ 建	物の一番	部(そ	の他	Ī)
土口	上 然 [[I	- ナ フ ロ			事務	新					商業	(施	没(物	勿販)	■商	業施設	(飲食	<u>;</u>)	
羊区	告範囲	リクノゴ	ニバンカ	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	没		□ そ	の他			
	本 標 おける	6細	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	匕事氵				直営店		加盟店		■非	該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	一 況			三可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の			ルギー電		証書によ の利用	る環境	竟価値	直
前か	年度らる		设 告 内 定 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 24	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 46	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 46	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 389.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田 (1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	小教 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	2,423.9	45.00	109.1	0.0136	5.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(温水)			MJ	20,066.7	1.36	27.3	0.0600	1.2
76%	*** その他(冷水)			MJ	130,066.7	1.36	176.9	0.0600	7.8
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	65,015.0	9.76	634.5	0.4890	31.8
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							947.8		⁽¹⁵⁾ 46.2
その				m^3	875.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	875.0			0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	実施状況

	地球		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
√ □ €	戦体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A403	中央熱源方式の空調使用量の提供
市出 市	戦 平 削 り 釜 畑			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
、	ラルギー 然の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
一一一	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
1~ 7	17 17 10 10 10 10	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	運 用 対 策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
]				D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策			D105	換気フィルターの清掃・点検
/K	is a find him of you have				
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6	特記事項
()	

区画占有使用者に対し電気使用量の削減に努め、ビル管理者が実施する節電対策に協力するよう依頼した。

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	新行	富ア.	イラ、	ンドブ	アネ	ックン	ス									
業	所	番	号	А	0	8	7	3		0	0	0	5						
				₹	1	6	0		0	0	2	3	区ī	市町村	名親	宿区			
業所	等 <i>Œ</i>	所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	西親	宿6	-2-	-3 🖁	新宿	アイラ	ランド	アネックス	ζ.				
業所等	等の 3	延床面	ī 積			174	.96	m^2							の 間	■ 1年度	ま分		1年未清
有		形	態		自己	引所を	有] 他	1者原	桁								
告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)一岩	部(ラ	ーナン	/ト)		建物の	一部	(その)他)
生 猝 囲	(a)	ーたス日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	7販)		商業施	設(館	欠食)	
口即进	リリノユ	こに公开	月还		工場	<u>=</u>					複合	施調	没			その他			
おける	細	分類番	号号		9	1	1	連	鎖化	么事 氵	美区 2	分		直営店] 加盟	店		非該当
生可能	とエ 用	ネルキ 状	デー 況						_					ルギー電				環境	価値
												こ合え	わせ変	変更。					
	業業告本お生年業所有告歴標でででででがのののののでののの	業 所 等 の 業 無 本 お 生 年 本 お 生 年 年 本 お 生 年 年 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま 産 か ま の ま で か ま で か ま か ま で か ま か ま で か ま か ま で ま で	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 百	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有 形 範 告 題 告 範 囲 途 産分番ギース は 乗る で まま で	業所番号A 業所等の所在地 町以 業所等の延床面積 有 形 態 ■ 有 形 態 囲 □ 古 告範囲の主たる用途 □□ 本標準細分和が状 毎 6 年度の報告内容報告	業所番号A 0 業所等の所在地 町以 業所等の所在地 町以 業所等の延床面積 有 形態 ■ 自己 幸物 告 範囲の主たる用途 □ 建物 本標準産業分類 6 9 生可能エネルル 別 □ 再生 おける細分類番号 6 9 生可能エネルス □ 再生 和 用 状	業所番号A 0 8 業所等の所在地	業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「T 1 6 0 町以 4 番 地 四数 業所等の延床面積 有 形 態 自己所有 告 範 囲 □ 建物の全部 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 6 9 1 1 本標準産業分類番号 生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 報告範囲の主たる	業所番号A 0 8 7 3 業所等の所在地 以 T 1 6 0 5 業所等の延床面積 T74.96 m² 著所等の延床面積 目 174.96 m² 有 形態 自己所有 □ 建物の全部 □ 事務所 □ 工場 本標準産業分類 6 9 1 1	業所番号A 0 8 7 3 - 〒 1 6 0 - 0 1 1 6 m² 事業所等の所在地	業所等の所在地 ボース	業所等の所在地 「T 1 6 0 - 0 0 2 世	業所等の所在地 〒 1 6 0 - 0 0 2 3 業所等の所在地 町名番地 以 西新宿6-2-3 新宿アイラン 業所等の延床面積 174.96 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 □ 建物の全部 □ 建物の一部(ラーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業所番号A0873-0005 業所等の所在地 T 1600-0023 区 で	業所番号A0873-0005 業所等の所在地 T 1600-0023 区市町村 T 174.96 m² 事業所等の実績年度	業所番号A0873-0005 業所等の所在地 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 - 0 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 0 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 0 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 0 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新 「T 1 6 0 0 0 0 2 2 3 区市町村名 第	業所番号A0873-0005 業所等の所在地 町名番地 以	業所番号A0873-0005 業所等の所在地 町名番地 以	業所番号A0873-0005 *** 京等の所在地 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名新宿区 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名新宿区 「T 1 6 0 - 0 0 2 3 区市町村名 新宿区 「T 1 4.96 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■1年度分 □ 1年度分 □ 2 4物の全部 □ 2 2 3 区市町村名 新宿区 「T 1 4.96 m² 事業所等の実績年度の 上年度分 □ 1年度分 □ 2 2 3 区市町村名 1年度分 □ 1年度分 □ 1年度分 □ 2 2 3 区市町村名 1年度分 □ 1年度分 □ 1年度分 □ 2 2 3 区市町村名 1年度分 □ 1年度分 □ 1年度分 □ 1年度分 □ 2 2 3 区市町村名 1 2 2 3 2 3 区市町村名 1 2 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 10	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	21	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 21	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 120.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		可要 (1 *> 1 1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	尔	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	1,832.8	45.00	82.5	0.0136	4.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	35,134.0	9.76	342.9	0.4890	17.2
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 425.4		⁽¹⁵⁾ 21.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,041.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,041.0			0.4000	0.4
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

			重点文	 			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	文	対策名
組	織体制の整備		温暖化対策推	進担当の配	<u> </u>	A404	テナントへの温眼	爱化対策協力依頼
工。	ネルギー等の	B102 B105	関連他者からのエネルギー使					
便 /	用状況の把握							
省工	運用対策							
ネルギー 対策	設備保守対策							
	設備導入対策							
	責年度の目標達成 提出年度の地球標の 有無	湿暖化丸	□ 目標達成	成した。]				
目材	票値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量 その他	ク区分(延床面積当たり)	特記事項	ランク kg-CO こ内容を	$_2/\mathrm{m}^2$ CO) ₂ 削減率(前年度比) ₂ 排出量(総量)) t
6	特記事項							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	中里	妤坂	上サ	ンフ	ブラノ	/ ኑツ	イン	・ ア	ネッ	クス					
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3		0	0	0	6			_		
					₹	1	6	4	_	0	0	1	2	区ī	† 町	村名	中野区		
事	業所	等 ₫	所有	王地	町。	名 番	地 下	本町	Г2—	46									
事	業所等	等の)	延床	面積		4	,752	.36	m^2						責年 <i>,</i> 用 其				1年未満
所	有		形	態		自己	別所	有		■他	1.者页	桁							
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		■ 建	物の)—≒	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の一	部(その	の他)
- 共口	告範囲	\mathcal{O}	ーたスト	田冷		事務	骄					商業	(施	没(物	7販)		□ 商業施設	(飲食))
羊区	口軋团	V) ユ	:/この/	巾坯		工場	3 7					複合	施	設			□ その他		
に	本 標 おける	細	分類者	番号		9	1	1	連	鎖化	と事 き				直営		□ 加盟店		非該当
再の	生可能	とエ 用	ネル: 状	ギー 況				エネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の			ルギー	一電	□ 証書によ の利用	る環境	価値
前か	年度ら		设 告 卢 芝 更						用途				こ合え	わせる	变更。				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 481	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	933	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 10	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 943	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 196.3	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	重型 (7-2) 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	95,714.3	45.00	4,307.1	0.0136	214.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,469,083.5	9.76	14,338.3	0.4890	718.4
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 18,645.4		933.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	15,490.0			0.2660	4.1
他	公共下水道			m^3	15,490.0			0.4000	6.2
		合 計							10.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	実施状況
_	FIGURE IIII, FVX	11/11/12/22	フェルドリハ 1ル

	地球温暖化对床	C TO DEN	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
組組	職体制の整備				
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
エク使り	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	 運 用 対 策				
省					
工					
ネル					
ギー					
対	凯伊伊宁梦梦				
策	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の角無	□□有 □■□無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		-

6 特記事項

今夏の節電対策 <ビル全体>

- ・管理会社からの節電対策要請に対して、協力
- <当社事業所において> ・照明を3分の1間引き
- ・空調の設定温度を29℃に設定

1 事業所等の概要

	VII.6			-1	_			,																
事	業 別	等	の名	称	コフ	ム岸	青	Ц																
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	0	7										
					Ŧ	1	0	7	_	0	0	6	2	区	市	町	村。	名》	巷区					
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	地 下	南青	f山7									_						
事	業所等	等の3	延床面	ī積		8	,389	.74	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の : 	実 <i>終</i> 使	漬 [年 <i>,</i> 目 其	度 (明	か 間		1年度	度分	[] 1	年未満
所	有		形	態		自己	別所	有] 他	1者列	悀												
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ、	ント	.)			建	物の)一音	ß (そ	この化	也)
土口	上 然国	I	- ナ- フロ	3 \A		事務	所					商業	纟施言	没(4	物則	反)			商	業施	設(飲飢)	
半収	告範囲	リクノ土	こだる州	力达		工場	<u>ヨ</u> .					複合	施	没					そ	の他				
	本 標 おける	細	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	/事業	美区 2	分		Ē	[営	店			加盟	店	ı	■ ∌	非該当
再の	生可能 利	ピエ 用	ネルキ 状	ゴー 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギー	−電			証書 の利,		5環	境価	値
前か	年度らの			容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	338	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	655	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	658	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	78.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	- PO(100 (0)(4)	四重4/11/1	推計		//. H. F.	e vice	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	102,481.8	45.00	4,611.7	0.0136	230.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
75%	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	870,381.0	9.76	8,494.9	0.4890	425.6
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 13,106.6		655.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,985.0			0.2660	1.6
他	公共下水道			m^3	5,985.0	/		0.4000	2.4
		合 計				/			4.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

4 -	地球温暖化対策	の夫虺か		,	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
幺日 幺	戦体制の整備				
水口. 小	既 仲 刑 ♥ノ 歪 佣				
	+ 1 × × ×	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
エ /	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
12.7	11 1/1 1/2 1/2 1/2				
	運用対策				
省エネル					
ギ					
1					
对 第	設備保守対策				
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

目標の有無	無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		-

6	性部	事項
()	457 61	- H

一括借受者に対し、節電に努めるよう依頼。さらに、平成30年度は空調機器を更新するなど、高効率機器への改修を実施している。

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	パト	リア	品川	l店	(本領	涫)														
業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	0	8										
				₹	1	4	0	_	0	0	0	3	区	市	町	村:	名品	JII[2	<u> </u>				
業所	等 σ.	所 在	地	町以以	名 番	地 下	八潮										_						
業所等	等の3	延床面	〕 積		10	,838	.09	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の :	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 用 其	度 朝		1	年度	分] 1 ⁴	年未満
有		形	態		自己	2所7	<u>有</u>] 他	者列	뒦												
告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	テナ	ン	(-)			建物	勿の-	一部	(そ	の他	1)
生然田	I M F	ーたス日	1.2		事務	所					商業	纟施言	没(5	物	坂)			商氵	業施調	没(負	次食	:)	
口軋匠	リワユ	こに公开	1 还		工場	<u>크</u>					複合	施	設					その	り他				
おける	細	分類番	号	6	9	1	1			(事業	美区 2	分] [直営	店		コカ	11盟月	吉		非	該当
生可能	_{とエ} 用	ネルキ 状	· 況						_					ネノ	レギー	一電	[環境	竟価値	直
			容点		·	·	·		·										·				
	業業告本お生年業所有毎標でで<	業 所 等 の 業 無 無 なお 生 年 をお ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形 年 節 告 範 囲 を 産 か また る 月 本 け る 能 用 本 け る 能 用 と で ま 類 ル 状 内 で の 報 告 内 番 告 の 報 告 内 の れ か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標を類が上で、 年間の報告内容	業所番号A 業所等の所在地 「可以 業所等の延床面積 本	業所番号A 0 業所等の所在地 町以 10 素所等の延床面積 10 有 形態 ■ 自己 告範囲の主たる用途 ■ 建物 告範囲の主たる用途 □ 事務 本標準産業分類 6 9 生可能エネルルス □ 再生 和おける細分類番号 6 9 生可能エネルボス □ 再生	業所番号A 0 8 業所等の所在地 「 1 4 町以 名番地 以 名番地 以 10,838 有 形態 ■ 自己所名	業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「 1 4 0 町以 4 番 地 八瀬 業所等の延床面積 10,838.09	業所番号A 0 8 7 3 業所等の所在地 T 1 4 0 0 T 1 1 3 1 4 1 0 0 T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	業所番号A 0 8 7 3 一 業所等の所在地 以 A 番地 以 A 番地 以 B D D D D D D D D D D D D D D D D D D	業所番号A0873-00 業所等の所在地 以名番地 以名番地 以次5-5-3 業所等の延床面積 有形態 自己所有 □ 他者的 告範囲の主たる用途 □ 建物の全部 □ 建物の 生範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 工場 □ 連鎖化事業 おける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業 おける細分類番号 「	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 年	業所番号A0873-0000 業所等の所在地 T 1400-0000 業所等の所在地 T 13400-00000 業所等の延床面積 10,838.09 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(ラ 生範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 強令施調を持る細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー 月生可能気の受力 年度の報告内容	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区 T A 番 地 以 「N 338.09 m² 事業所等の実 エネルギー使 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナ 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 おける細分類番号 任 可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 有ま配面の設置 □ 再生可能工工・ □ 再生可能工・ □ 有まの受入 年度の報告内容	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市 「T 1 4 0 - 0 0 0 0 3 区市 「T 1 4 0 - 0 0 0 0 3 区市 「T 2 番地 八潮5-5-3 「基本 5 本 7 次 1 - 0 0 0 0 0 3 区市 「T 2 番地 八潮5-5-3 「T 2 番地 八潮5-5-3 「基本 7 次 1 - 0 0 0 0 0 3 区市 「T 2 番地 八潮5-5-3 「基本 7 次 1 - 0 0 0 0 0 3 区市 「T 2 番地 八潮5-5-3 「基本 7 次 1 - 0 0 0 0 0 3 区市 「T 2 番地 八潮5-5-3 「基本 7 次 1 - 0 0 0 0 0 3 区市 「T 2 番地 八潮5-5-3 「基本 7 次 1 - 0 0 0 0 0 3 区市 「T 2 第	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市町 以 4 番 地 以 5 - 5 - 3 業所等の延床面積 10,838.09 m² 事業所等の実績年	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 「1400-0003 区市町村金町 A番地 以 「	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市町村名	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市町村名品川屋 大瀬5-5-3 業所等の延床面積 10,838.09 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1 有形態 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ を動の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業 □ 接物の主たる用途 □ な合施設 □ その本標準産業分類おける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ たるおける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ たる用が、別用状況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ であるの受入 □ であるのである □ はのである □ たるのである □ をしまるのである □ をしまるのであ	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 「T 1 4 0 - 0 0 0 3 区市町村名品川区 町 名番地以 「N潮5-5-3 業所等の延床面積 10,838.09 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部業施設では、物販) □ 商業施設は、3 はける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟がおける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟がおける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟がおける細分類番号 日 東生可能エネルギー 利用状況 □ 再生可能エネルギー 利用状況 □ 再生可能エネルギー □ 系元 □ の利用	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 町A番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 町名番地 以 ** 「 ** 「 ** 「 ** 「 ** 「 ** 「 ** 「 **	業所番号A0873-0008 業所等の所在地 町 名番地 以

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 627	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1,194	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 9	t
	総計(④=②+③)	① 1,203	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 110.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	19,782.6	45.00	890.2	0.0136	44.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(温水)			MJ	781,960.0	1.36	1,063.5	0.0600	46.9
mi	その他(冷水)			MJ	2,189,300.0	1.36	2,977.4	0.0600	131.4
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,987,712.1	9.76	19,400.1	0.4890	972.0
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 24,331.2		1,194.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	14,582.0			0.2660	3.9
他	公共下水道			m^3	14,582.0	/		0.4000	5.8
		合 計				/			9.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	実施狀況
_	FIGURE IIII, FVX	11 1/11 218 42	フェルドリハコハ

			重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A402	使用量の推計に必要な情報の提供		
組糸	織体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握				
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握				
(尺)	田 4人 7元 77 1日 1全	B105	エネルギー使用量の前年度比較				
		C801	共用部照明のフロアごとの管理				
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定				
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理				
省エネルギ	運用対策						
イ 一 対		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換				
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化		
	 設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御		
	一一			E136	デマンドコントローラの設置		
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用		

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無	
	ベンチマーク区分	ランク CO ₂ 削減率(前年度比) %
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t
	その他	特記事項に内容を記載

6	特記事項

当社事務所内の照明器具、共用部誘導灯についてすべてLED化を実施している。

1 事業所等の概要

パトリア品川店(別館)
A 0 8 7 3 — 0 0 9
〒 1 4 0 - 0 0 0 3 区市町村名品川区
町 名 番 地 以 下 八潮5-10-27
事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
■ 自己所有 □ 他者所有 □
□ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(その他)
□ 事務所 ■ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)
□ 工場 □ 複合施設 □ その他
6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
□ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値 発電設備の設置 気の受入 □ の利用

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 45	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 88	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 88	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 198.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計			1-4 1/11	熱量	二酸化炭素排出量	
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>**</i> **	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	181,021.8	9.76	1,766.8	0.4890	88.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,766.8		⁽¹⁵⁾ 88.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	383.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	383.0	/		0.4000	0.2
		合 計				/			0.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×⑨とする。

対策番号 対策名 対策番号 対策 A202 温暖化対策推進担当の配置 A404 テナントへの温暖化 組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー等の 使用状況の把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較	
組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー等の P105 マヴェガ 佐田県の芝佐寛は乾	匕対策協力依頼
B102 関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー等の D105 マウッギ 佐田県のギケ東は乾	
B102 関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー等の D105 マウッギ 佐田県のギケ東は乾	
エネルギー等の DIO トゥッド 佐田県の芝佐田県	
エネルギー等の ロロ ニュッド 佐田県の芝佐時代	
エ ネ ル キ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握 B105 エネルギー使用量の前年度比較	
運 用 対 策	
省	
エ	
ネル	
Ť	
対	
R BOOK TO TO THE STATE OF THE S	
設備導入対策	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 無	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	t
その他特記事項に内容を記載	
17,10,7,7,7,1,7,1,0,1,0,1,7,1	
3. 炼記車項	
6 特記事項	

1 事業所等の概要

事業所等の名称 西国分寺ライフタワー(管理組合事務所) 事業所番号A0873-00010 〒185-0002-00024 下第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	
〒 1 8 5 - 0 0 2 4 区市町村名国分寺市 事業所等の所在地町名番地	
事業所等の所在地町名番地 💵 2-0-1	
」	
事業所等の延床面積 31.44 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 1年度分 □	1年未満
所 有 形 態 □ 自己所有 ■ 他者所有 ■	
報 告 範 囲 □ 建物の全部 ■ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その	つ他)
報告範囲の主たる用途 ■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他	
日 本 標 準 産 業 分 類 6 9 0 0 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■	非該当
再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境の 利 用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用	価値
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	© 63.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1・>1-11)	推計			开 业。	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	<i>の</i>	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (ii)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
m	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	4,446.0	9.76	43.4	0.4890	2.2
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 43.4		¹⁵ 2.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	20.6			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	20.6	/		0.4000	0.0
	-	合 計				/			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策	ぎの実施状況

$\frac{4}{}$	地球温暖化对策	り天旭小		1	and the state of t
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置		
幺日 幺	職体制の整備				
/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	₩ 仲 III ♥ 正 III				
L.,	シュン かっ	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	13 47 00 12 12 12				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
]					
対等	設備保守対策				
**	BY NII PK 1 7/1 7K				
	】 設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		-

6	1	埲	討	事	項
•	, ,	7	mI.		70

- 今夏の節電対策 ・照明器具の管球の間引き(全体の3分の1を抜いた。) ・不在時の消灯の徹底。

1 事業所等の概要

	于 / / / /	\ 1 .4	- 1-74																			
事	業所	等	の彡	名 称	立)	シ	ネマ	シラ	・イビ	゛ル												
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	1								
١.	_				Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	2	区ī	† 町	村	名 立	川市				
事	業所	等 ∅)所	在地	町:以	名 番	予地 下	曙町	Г2—	8-5							_					
事	業所等	争の)	延床	面積			809	.60	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の : 	実 績 使	責年 用	度 期	の 間	■ 1年	三度分		<u> </u>	年未満
所	有		形	態		自己]所	有		■他	1者月	桁										
報	告		範	囲		建物	カの4	全部		建	物の)—‡	郭(ラ	ーナン	/ト)			建物	\bigcirc	部(そ	その	也)
共口	告範囲	I A F	ーナフ	田冷		事務	新					商業	(施	没(物	加販)			商業	施設	(飲1	食)	
					Ш	工場	景					複合	施	没				その	他			
に	本 標 おける	6細2	分類	番号	6	9	1	1	連	鎖化					直営			〕加	盟店		■ 3	非該当
再の	生可能 利	ピエ 用	ネル 状				三可能 記設備		ルギ 置	_		再生 気の			ルギ	一電	· [書によ 利用	る環	境価	値
前か	年度らる		设告 定 更						用途らそ			変化に		— わせ <u>変</u>	变更。							

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 32	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 61	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 61	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 75.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田玉 (1->) 110	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	® =(6 /1000) × 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(温水)			MJ	53,729.7	1.36	73.1	0.0600	3.2
700	その他(冷水)			MJ	74,806.0	1.36	101.7	0.0600	4.5
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	110,286.7	9.76	1,076.4	0.4890	53.9
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,251.2		61.6
そ 水道及び工業用水道				m^3	1,187.2			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,187.2			0.4000	0.5
		合 計							0.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対	·策		その他対策	च
		対策番号		対策名	対策番号	対策	策名
		A202	温暖化対策推	進担当の配置	A404	テナントへの温暖	化対策協力依頼
6 п. «	かけまる軟件						
組糸	職体制の整備						
		B101	自ら入手可能が	な情報に基づく把握			
	ネルギー等の	D100		の情報を加えて把握			
更卢	用状況の把握	B105	ļ	用量の前年度比較			
		D100	(Z)	11至47的干及比较			
	運 用 対 策						
省							
エ							
ネ							
ルギ							
対							
策	設備保守対策						
	設備導入対策						
主結		の状況	□ 目標達原	以た			
7 (1)	X + X + A MAZIM	/ \		7,0,10			
_	提出年度の地球	え温暖化え	策の目標				
5 ;			無無				
		□ ■有	()))				
	標の有無			ランク	CO	,削減率(前年度比)	o _k
目	標の有無	ベンチマー	ク区分	ランク		削減率(前年度比)	
		ベンチマー CO ₂ 排出量		kg-C(O_2/m^2 CO	削減率(前年度比) 排出量(総量)	% t
	標の有無	ベンチマー	ク区分		O_2/m^2 CO		
	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目 標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目 標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目 標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		
目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分	kg-C(O_2/m^2 CO		

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	ヴィ	・ーゟ	聖]	責桜	ケ丘	(新	都市	īラ1	イファ	ђ ,	ルデ	イン	グン	マ聖蹟を	妥ケ 丘	店)	
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3		0	0	1	2								
					₹	2	0	6	_	0	0	1	1	区	市町	村:	名	多摩市				
事	業所	等 <i>の</i>	所 在	地	町。以	名 番	地 下	関戸	₹4−	72												
事	業所等	● の 3	延床面	ī積			109	.18	m^2		業				責年 用:		の 間	■ 1年月	度分] 1年	F未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		■他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		■ 建	物の)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)			建物の)一部	3(そ	の他	ī)
华口	告範囲	ДÌ	ーたス日	日次		事務	所					商業	纟施言	设(物	り販)			商業旗	冠設(1	飲食)	
羊区	口軋团	ひき	こに公开	月述		工場	<u>크</u> 7					複合	施	設				その他	1			
に	本 標 : おける	細	分類番	号号		9	0	0			(事)				直営			□ 加盟	店		非	該当
再の	生可能	ミエ. 用	ネルキ 状	デー 況				ピエネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の			ベルギ	一電		□ 証書 の利	による 用	環境	き 価値	直
前か	年度の			容点	容報告範囲の主たる用途を実態の変化に合わせ変更。 (商業施設(物販)から事務所へ)																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	© 27.4	kg-CO ₂ /m ²

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	尔	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	6,429.0	9.76	62.7	0.4890	3.1
規貝	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 62.7		3.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	84.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	84.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策番	号	対策名	7
		A202	温暖化対策推	進担当の配置				
√ □	サード カーボール サール	A501	ビル所有者の	対策や要請に協力				
1. 1	職体制の整備							
~ ·	ネルギー等の	B101		な情報に基づく把握				
上り使り	用状況の把握	B102		り情報を加えて把握				
		B105	エネルギー使用	用量の前年度比較				
		C101	空室•不在時等	ទ のこまめな消灯				
		C109	空室•不在時等	等の空調停止				
		C114	事務用機器を	省エネモードに設定				
	運用対策							
省								
工								
ネ								
ルギ								
Ì		D101	ランプ等の定期	明的な清掃・交換		Ì		
対	乳 冼 伊 仝 ≯ 筌	D104	空調フィルター	の清掃・点検				
策	設備保守対策							
	北海道 大学							
	設備導入対策							
		11. >		b > - >				
実 績	責年度の目標達成	の状況	□□目標達成	成した。				
Ξ.	坦山左 帝の地対	海峡小类	+笙の日挿					
<u>)</u> 目	提出年度の地球 標の有無		■無	1				
	1次 ◇ 月 流	ベンチマー		ランク	L	(0)	削減率(前年度比)	%
타	西荷笠()라扣)							
日仿	栗値等(選択)		(延床面積当たり)			CO_{21}	排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載			
3 :	特記事項							

1 事業所等の概要

	J /1~/.		- 100																		
事	業所	等	の名	称	大身	泉学	園り	めり)あ1												
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	3							
1.					Ŧ	1	7	8		0	0	6	3	区	市町	村	名	練馬区			
事	業所	等の	所 在	:地	町以以	名 番	F 地 下	東大	泉1	-29	-1						_				
事	業所等	等の)	延床面	重積		2	,243	.59	m^2	事	業 ア ネ ル	r 等 レギ	の :	実 á 使	責 年 用	度期	の間	■ 1年度	分		1年未満
所	有	-	形	態		自己	1所1	有		■他	1者前	桁									
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		建	物の)—‡	郭(ラ	ーナン	/ト)			〕建物の	一部	(その)他)
却	告範囲	i n i	ーたスト	日次		事務	所					商業	纟施言	没(集	勿販)] 商業施	設(食	欠食)	
羊区	口単位	コマノゴ	ニバングア	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	設				〕その他			
に	本 標 おける	5細2	分類種	子号	6	9	1	1	連	鎖化	と事業	美区 2	分		直常	営店		□ 加盟	店		非該当
再の	生可能	能エ 用	ネルキ 状	デ況				エネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電	Ė	□ 証書は の利用		環境	価値
前か	年度らる		设告 内 定 更	容点		f範囲 業施記						変化に	こ合え	わせ	変更。						

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 89	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 173	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 173	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 77.1	$kg-CO_2/m^2$

	, , , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , </u>	田東子小川	推計		公田 目	开 业.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
75%	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	354,447.0	9.76	3,459.4	0.4890	173.3
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,459.4		¹⁵ 173.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,486.0	$\overline{}$		0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,486.0	/		0.4000	0.6
		合 計				/			1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2 %(V 11111 F/Z	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

	地球温暖化对床	- J (重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
√ □ «	職体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
水土 1	戦性制の発掘			A405	ビル全体の推進体制の整備
~ ·	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ポポポー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C102 C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C801	フロア共用部の温度の把握・設定	C802 C808	温湿度の適正管理
		C003	プログ共用的の価及の行列を収定	C606	温祉及り 週北日柱
	 運 用 対 策				
415					
省工					
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
巾	成 闹 体 竹 刈 來				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		L101		L LUT	ング・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

管理組合と協議し、平成23年度に東京電力との主契約電力を約15%削減で契約したものを継続する。日々のデマンドの管理を徹底し、共用部の照明及び空調の一部停止を継続し、管理する。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	大身	泉学	園り	めり)あ2	(新	都市	iライ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	,	ルデ	インク	ブス大泉学園]店)		
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	4						
					Ŧ	1	7	8	_	0	0	6	3	ī 区	市 町	村名	練馬区			
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	東大	:泉5	-43	-1									
事	業所等	€ 03	延床面	ī積			45	.30	m^2		業				責年 用:	度 <i>の</i> 朝 間) []1年	未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		■他	1.者页	桁								
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の一	部(そ	の他)
共口	告範囲	$\sigma \rightarrow$	・たて日	1 冷		事務	丽					商業	(施	没(物	,販)		□ 商業施設	(飲食	E)	
羊区	口軋团	ひ土	ここの月	1 还		工場	<u>=</u> 7					複合	施調	没			□ その他			
	本 標 : おける				6	9	0	0	連	鎖化	/事		分		直営	店	□ 加盟店		■非	該当
再の	生可能	ュニ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ンルギ と置	_		再生 気の			ルギ	一電	□ 証書に。 の利用	よる環境	竟価値	Ī
前か	年度の			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 3	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 66.2	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	(水 女 人	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	7,215.0	9.76	70.4	0.4890	3.5
規則]第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	70.4		3.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	27.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	27.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖	化対策の	実施狀況
_	FIGURE IIII, FVX	11 1/11 218 42	フェルドリハコハ

_ , _ , _ , , , , , , , , , , , , , , ,	·	重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A202	温暖化対策推進担当の配置	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
※ 休 剉 の 敕 借				
帐件 III ♥ / 正 III				
ウルゼーダの	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
	C114	事務用機器を省エネモードに設定		
運用対策				
	D101	Obb - Lile II) \tag{1}	D105	
			D105	換気フィルターの清掃・点検
設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検 		
	F101	直効素照明ランプの採用(長内)	F104	 照明点灯範囲の細分化
	E101	回が予照切ノイノの木用(産門)	E104	スピウナベンと) 車店(五)マンが用ごり、1.0
設備導入対策				
	職体制の整備ネオ状一のの一のの一のの一のの対策機保守対策	 対策番号 A202 職体制の整備 B101 B105 デルギー等の C101 C106 C114 正 用 対 策 設備保守対策 D101 D104 E101 	対策番号 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 A202 温暖化対策推進担当の配置 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C114 事務用機器を省エネモードに設定 T14 事務用機器を省エネモードに設定 D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 D104 空調フィルターの清掃・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内)	重点対策 対策名 対策名 対策番号 対策番号 A202 温暖化対策推進担当の配置 A214 A214 A214 A214 B105 B105 エネルギー使用量の前年度比較 B105 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C102 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C123 C114 事務用機器を省エネモードに設定 C114 事務用機器を省エネモードに設定 D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 D105 D104 空調フィルターの清掃・点検 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E104

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6	性部	事項
()	457 61	- H

空調・照明の一部及び一時停止の励行。空調及び照明設備の清掃・整備の実施。こまめな室内温湿度管理を励行し、 外気の活用についても実施する。

1 事業所等の概要

等 0)名	称	赤羽	りパ	ルロ	ード	` I •	アピ	· レ													
所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	5										
			Ŧ	1	1	5	ı	0	0	4	5	区	市	町	村纟	名は	区					
等の	所 在	地	町以以	名 番	* 地 下	赤羽																
等の延	床面	積		7	,453	.91	m^2	事	業	「等 レギ	の <u>:</u> _	実 á 使	漬 4	手 <i>]</i>	度 (1	年度	分] 1	年未満
• #	S,	態		自己	1所1	有] 他	1者月	斤有												
筆	Ĺ	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— [‡]	部(ラ	・ナン	ント))			建/	物の-	一部	(そ	· の(池)
i の ナ +	5 7 E	1 1/2		事務	所					商業	き施!	没(特	勿郥	į)			商	業施	設(創	次食	£)	
107土/	この圧	述		工場	<u>크</u>					複合	}施	設					その	の他				
6細分	類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	上事業	業区?	分		直	営	店		□ <i>力</i>	ル盟/	吉		■ ∌	非該当
能エネ 用	ルギ 状	· 况						_					ネル	ギー	-電					環均	竟価	i値
	告 内 更	容点																				
	等の延用の 準細工用 報	所 番 年 年 所 の 延 形 範 た 業類ル状 告 の 番ギ 内 の 番ギ 内 の 番ギ 内 の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の	等の所を	所 番 号 A 〒 町以	所番号A 0	所番号A 0 8 等の所在地	所番号A 0 8 7 等の所在地	所番号A 0 8 7 3 等の所在地 以	所番号A 0 8 7 3 - 〒 1 1 5 - 0 0 m	等の所在地 〒 1 1 5 − 0 0	所番号A 0 8 7 3 - 0 0 年の所在地 以 ボスリーシー 1 1 5 - 0 0 4 年の所在地 以 ボスリーシー 5 - 1 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	所番号A0873-001 等の所在地 T 1 1 5 - 0 0 1 等の所在地 T 3 - 0 0 1 F 0 1 1 5 - 0 0 0 4 5 F 0 延床面積 7,453.91 m² 事業所等の エネルギー	所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 等の所在地 「 1 1 5 - 0 0 4 5 区 町 A 番 地 以 ボ羽1-5-1 等の延床面積 「 7,453.91 m² 事業所等の実施 エネルギー 使 一 2物の全部 □ 建物の一部(テナン の 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 等の所在地 「	所番号A0873-00015 等の所在地 T 115 - 00015 等の所在地 T 3 - 00015 下 1 1 5 - 000 4 5 区市町 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 等の所在地 「 1 1 5 - 0 0 4 5 区市町村を	所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 等の所在地	所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 等の所在地 「 1 1 5 - 0 0 4 5 区市町村名 北区 等の所在地 「 7,453.91 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1 形態 自己所有 □ 他者所有 「 2 物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の主たる用途 □ 非務所 □ 強物の一部(テナント) ■ 建物の主たる用途 □ 非務所 □ は合施設 □ その活産が □ な合施設 □ その活産が □ 有生可能エネルギー 用 状況 □ 再生可能エネルギー 用 状況 □ 再生可能エネルギー 目 気の受入 □ 直営店 □ がる報告内容	所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 等の所在地	所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 等の所在地 「	所番号A0873-00015 〒1115-1	所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 5 〒 1 1 5 - 0 0 4 5 区市町村名 北区 等の所在地 町 名番地 以 赤羽1-5-1 等の延床面積 7,453.91 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1 形態 ■ 自己所有 □ 他者所有 ・ 範囲 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(その付の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 存の他 準産業分類 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 第5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 8	27 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1,6	06 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	9 t
	総計(④=②+③)	④ 1,6	515 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 21	$6.4 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		// H F	1 Nr.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	15,337.9	45.00	690.2	0.0136	34.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
mi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	3,214,803.0	9.76	31,376.5	0.4890	1,572.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 32,066.7		1,606.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	14,888.0			0.2660	4.0
他	公共下水道			m^3	14,888.0			0.4000	6.0
		合 計							9.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温明	受化 分等	の実施	小
4	TIE VI (MI II	ラスロ メンロ 小	とひろ ス・ かい・	オハ イカ

4:	地球温暖化対策	の夫他や			
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
ψΠ ψ	かけまの軟件	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
於丑. 於 	職体制の整備				
	22 //	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
	TI 1/1 1/L 0/2 1/L 1/E	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
	運用対策				
省					
工工					
ネ					
ルギ					
7		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対		D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	設備保守対策				
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用
	机供道工具体				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無							
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO ₂ 削減率(前年度比)					
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO2排出量(総量)	t				
	その他	特記事項に内容を記載						
		kg-CO ₂ /m ² 特記事項に内容を記載	CO ₂ 排出重(総量)					

6	性部	事項
()	457 61	- H

平成30年度の地下1階食品エリアリニューアル時に行った設備更新等の効果もあり、エネルギー使用量の増加は抑えられていると考える。

1 事業所等の概要

業月	千 等	の名	称	赤羽	りパ	ルロ	ード	`Ⅱ•	ビビ	オ													
業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	6										
				Ŧ	1	1	5		0	0	5	5	区	市	町	村。	名	比区					
業所	等 0)所 在	:地	町以以	名 番	* 地 下	赤羽										_						
業所	等の	延床面	面積		1	,281	.00	m^2	事	業	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 á · 使	漬 ²	年 /			= 1	l年度	分	[]]	年未満
有	Î	形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	斤有												
싇	i	範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	部(ラ	テナン	ント)			建:	物の	一剖	ß (?	この	他)
生統日	刊のう	トたスト	日之		事務	所					商業	き施:	設(特	勿則	<u>(</u>)			商	業施	設(1	飲1)	
口里已足	ガマノコ	こんのと	力压		工場	<u>ヨ</u> ガ					複合	产施言	設					そ(の他				
おける	る細さ	分類番	多号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)									加盟	店	ı	■ 5	非該当
生可利	能 エ 用	ネル ^ュ 状	デー 況						_					ネル	ギー	-電					る環	境佃	i値
			容点																				
	業業所存告本お生年様け可利度	業 所 等 の 業 標 を 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業所番 業所等の所在 業所等の延床 有 形 告 範 告 範 告 範 告 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標を類が上で表別である。 本にはいる。 は、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別です。 は、対象を表別である。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別である。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を、まし、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、	業所番号A 業所等の所在地 「T 」 以 業所等の延床面積 「T 」 以 業所等の延床面積 「E ・ 範囲の主たる用途 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	業所番号A 0 業所等の所在地 町以 素所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 書	業所番号A 0 8 業所等の所在地	業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「T 1 1 5 町以 名番地 示事 業所等の延床面積 1,281.00 有 形態 自己所有 告 範 囲 □ 建物の全部 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 工場 本標準産業分類 6 9 1 1 本標準産業分類 6 9 1 1 年可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネル 発電設備の設	業所番号A 0 8 7 3 業所等の所在地 以 T 1 1 5 - 町 名番地 以 T 8 排	業所番号A 0 8 7 3 0 mm	業所等の所在地 T 1 1 5 − 0 0 T A 番 地	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 年	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 業所等の所在地 T 1 1 5 - 0 0 5 5 業所等の延床面積 1,281.00 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 □ 建物の全部 □ 建物の一部(元本ルギー 日本標準産業分類 6 9 1 1 連鎖化事業区分 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能の設置 □ 再生可能 気の受力	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 6 業所等の所在地 「T 1 1 5 - 0 0 5 5 区 町 名番地 以 ボ羽西1-6-1 業所等の延床面積 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 「基物の全部 □ 建物の一部(テナスターを) は合施設 本標準産業分類 おける細分類番号 任可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 月生可能エネルギー 気の受入 年度の報告内容	業所番号A0873-00016 業所等の所在地 T 115 - 00055 を市 T A番地 以 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 6 業所等の所在地 T 1 1 5 - 0 0 5 5 区市町 ボップロートー 業所等の延床面積 1,281.00 m² 事業所等の実績年がまれずー使用身 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 工場 □ 有合施設 本標準産業分類 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営 生可能エネルギー 発電設備の設置 □ 有生可能エネルギー気の受入	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 6 業所等の所在地 「T 1 1 5 - 0 0 5 5 区市町村会 「T 2 番 地	業所番号A0873-0016 業所等の所在地 T 1 1 5 - 0 0 0 5 5 区市町村名 T A 番地 以 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 6 業所等の所在地 T 1 1 5 - 0 0 5 5 区市町村名 北区 T A 番地以 ホ羽西1-6-1 業所等の延床面積 1,281.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 有 形態 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ 性者所名 告範囲の主たる用途 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商 おける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 対 おける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 対 年度の報告内容	業所番号A0873-0016 業所等の所在地 T 1 1 5 - 0 0 0 5 5 区市町村名北区 T 3 - 0 0 0 5 5 区市町村名北区 T 4 番 地 以 *** T 5 1 1 5 - 0 0 0 5 5 区市町村名北区 T 7 1 1 5 - 0 0 0 5 5 区市町村名北区 T 8 新羽西1-6-1 業所等の延床面積 1,281.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度 有 形態 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ を動の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設ける細分類番号 6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー	業所番号A0873-0016 業所等の所在地 町 A番地 以名番地 大羽西1-6-1 業所等の延床面積 1,281.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 1年度分 有 形態 自己所有 □他者所有 告範囲の主たる用途 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部 告範囲の主たる用途 □ 複合施設 □ その他 本標準産業分類おける細分類番号 生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書によるの利用 状況 年度の報告内容	業所番号A0873-0016 業所等の所在地 町A番地 以名番地 ボ羽西1-6-1 業所等の延床面積 1,281.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 [を範囲の主たる用途 本標準産業分類おける細分類番号 生可能エネルギー 利用状況 年度の報告内容	業所番号A0873-0016 業所等の所在地 T 1 1 5 - 0 0 5 5 区市町村名 北区 T 1 1 5 - 0 0 5 5 区市町村名 北区 T 3 - 0 0 1 6 T 1 1 5 - 0 0 0 5 5 区市町村名 北区 T 3 - 0 0 0 5 5 区市町村名 北区 T 4 部 地 以

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 83	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 162	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	^④ 162	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 126.4	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量		
	燃料等の種別		燃料等の種別		の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	尔	(t) (0=8×9×44/12		
444.	都市ガス			Nm^3	7,882.7	45.00	354.7	0.0136	17.7		
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
び熱	その他()				0.0						
Thi	その他()				0.0						
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	296,807.4	9.76	2,896.8	0.4890	145.1		
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
		合 計					⁽⁴⁾ 3,251.6		162.8		
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,391.5	$\overline{}$		0.2660	0.4		
他	公共下水道			m^3	1,391.5	/		0.4000	0.6		
		合 計				/			0.9		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
√ □ 4	職体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
租前	戦 14 刑 07 登 1用			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
T	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C815	看板照明点灯時間の季節別管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
		C805	中央熱源機器等の季節設定実施		
	運用対策				
省					
エ					
ネ					
ルギ					
7		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	机供归力基体	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				
	取佣等八刈束				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□□有□■無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	9	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

【共用部分に係る節電対策】

- (1)空調について
- ①設定温度28℃を徹底している。
- ②使用頻度の低い部屋・廊下・倉庫等(共用部分)の空調停止
- (2)照明について
- ①廊下やバックヤード、外灯を中心に昼間は約25%、夜間はプラスアルファの節電を実施している。

【専有部分に係る節電対策】

- ○専有部分占有者(テナント等)に対し、照明の間引き消灯と空調温度28%設定を中心とした節電対策実施について協力依頼を行っている。
- ○特に消費量の多い大型区画については、電力使用量のチェックを実施している。

1 事業所等の概要

_	J /15/		- 100	·													
事	業所	等	の名	称	亀石	有リリ	才包	5番:	館								
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	7			<u> </u>
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	6	1	区	市町	村	名 葛飾区
事	業所	等 σ ₂	所在	地	町以以	名 番	f 地 下	亀有	ī3—:	26							_
事	業所等	等の	延床面	ī積			201	.67	m^2						責 年 用 ‡		の ■ 1年度分 □ 1年未満
所	有	-	形	態		自己	引所	有		■他	1者原	桁					
報	告	1	範	囲		建物	カの 🔄	全部		建	物の)—‡	郭(ラ	・ナン	/ト)		□ 建物の一部(その他)
华口	告範囲	i n i	-たて H	日次		事務	所					商業	纟施言	没(物	勿販)		□ 商業施設(飲食)
						工場	<u>司</u>					複合	施	設			□その他
に	本 標 おける	5細2	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	么事美	業区 2	分		直営	店	□ 加盟店 ■ 非該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	: 元				エネ すの設	ルギ 置	_		再生 気の			ベルギ	一電	証書による環境価値の利用
前か	年度らる	の 執 の <i>多</i>		容点		f範囲 業施記						変化に	こ合え	ー わせ?	変更。		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 1	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) 4.9	kg-CO ₂ /m ²

		田玉 (1・>1-11)	推計			开 业。	熱量		炭素排出量
	燃料等の	燃料等の種別		単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	2,672.0	9.76	26.1	0.4890	1.3
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 26.1		1.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	10.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	10.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

制の整備ギー等の況の把握	B101 B102	温暖化対策推 テナントにエネ 自ら入手可能	対策名 進担当の配置 ベルギー使用量 な情報に基づく	提供	対策番号 A404	その他対策対策	
ギー等の	B101 B102	テナントにエネ 自ら入手可能	ベルギー使用量		A404	テナントへの温暖	化対策協力依頼
ギー等の	B101 B102	自ら入手可能					
ギー等の記の把握	B102		な情報に基づく	扣拐			
ギー等の : 況の把握 	D102	関連他者からの		1口7至			
. 1/L V/ 1/L 1/E			の情報を加えて	把握			
	B105	エネルギー使	用量の前年度は	比較			
					C813	外灯等の点灯時間	の季節別管理
用対策							
情保守対策							
请 導入対策							
			成した。]			
の有無	□有	無無]	_		_	
	ベンチマー	-ク区分		ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
幹(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CO ₂	/m ² CO	2排出量(総量)	t
	その他		特記事項に	内容を診			
	講保守対策 講導入対策 をの目標達成 年度の地球 の 有 無 等(選択)	# 保守対策 # 単	# 保守対策 □ 目標達成の状況 □ 目標達成の状況 □ 目標達成の状況 □ 目標達成の状況 □ 目標達成の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 CO₂排出量(延床面積当たり) その他	# 保守対策 □ 目標達成した。 年度の地球温暖化対策の目標 の 有 無 □ 有 ■ 無	第保守対策	# 保守対策	第保守対策

1 事業所等の概要

	7 /1~/		- 100																				
事	業彦	等	の名	称	亀有	すリリ	才言	代番	館														
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	8									
					₹	1	2	5	_	0	0	6	1	区	寸.	町	村	名	葛飾区				
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	i 地 下	亀有	ī3-:	29-	1												
事	業所等	等の	延床面	ī積			764	.59	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の - -	実 : 使	績	年 用;		の 間	■ 1年	三度分	[1	年未満
所	有	•	形	態		自己	L所和	钉		■他	者列	뒦						_					
報	告	:	範	囲		建物	カの生	全部		建	物の)— [‡]	郭(ラ	ーナ	ン	۱)			〕建物	の一节	部(そ	その作	也)
却	生新田	の主	こたる用	1 法		事務	骄					商業	(施	没(!	物	販)			商業	施設(飲1)	
十八		1 v > _T	-10011	1 1/47		工場	∃ 7					複合	施	設] その	他			
に	おける	5 細 2	뚵業分 分類番	号	6	9	1	1		鎖化	(事業	美区2	分] j	直営	店		□加	盟店	ļ	■ ∌	丰該当
再の	生可能	能工 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギ	一電	,		書によ 利用	る環	境価	値
前か		の 報 の <i>薬</i>	设 告 内 区 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 17	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 34	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 44.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			1 Nr.1	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	尔	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	731.8	45.00	32.9	0.0136	1.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	67,000.0	9.76	653.9	0.4890	32.8
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	686.8		⁽¹⁵⁾ 34.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	579.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	579.0	/		0.4000	0.2
		合 計				/			0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点文	対策			その他対策	ŧ
		対策番号		対策名	対策者	番号	対策	
		A202	温暖化対策推	進担当の配置	A40)4	テナントへの温暖イ	ヒ対策協力依頼
組	織体制の整備	A401	テナントにエネ	ベルギー使用量技	是供			
) 10 <i>ht</i> =	B101	自ら入手可能	な情報に基づく				
工 庙	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者から	の情報を加えて	 把握			
<i>(</i>	/II 4/(DE	B105	エネルギー使	用量の前年度比	:較			
		C803	フロア共用部の	の温度の把握・認	t定 C81	13	外灯等の点灯時間	の季節別管理
		C804	共用部のフロ	アごとの空調の管	育理			
	運用対策							
省工								
ネルギ								
 対	設備保守対策							
	設備導入対策							
実績	 責年度の目標達成	の状況	□ 目標達	成した。				
	提出年度の地球			7				
<u>目</u>	標の有無	有ベンチマー	■ 無 -ク区分		ランク	CO	削減率(前年度比)	g
日村	票値等(選択)				$kg-CO_2/m^2$		排出量(総量)	t
H 17	北區寺(医)()	その他	(延/N田領コ/こり)	特記事項に				
		CANIE		N記ず気Cr	1年で 記載			
6	特記事項							
0	W 101 171 K							

1 事業所等の概要

業点	近 等	の名	称	サン	ノタウ	フン	立花															
業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	1	9									
				Ŧ	1	3	1	_	0	0	4	3	区	市	町	村	名	墨田区				
業所	等の	り所有	E 地	町以以	名 番	* 地 下	立花										_					
業所	等の	延床面	面積		8	,351	.40	m^2	事	業	「等 レキ	の :	実 <i>終</i> ・ 使	漬 : 月	年] j	度期		■ 1年	三度分			1年未満
7	旨	形	態		自己]所	有] 他	1.者页	斤有											
<u>#</u>	片	範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)— [₽]	郭(ラ	テナ	ント)			▮建物	\mathcal{O}	部(-	その	他)
生 統 [田の一	ナたス F	日之		事務	新					商業	き施	設(4	物則	又)			〕商業	施設	(飲	食)	
口里山	<u>ガ</u> マノニ	E/Ca/	力压		工場	<u>司</u> 切					複合	}施	設] その	他			
おけ	る細	分類看	昏号	6	9	1	1			(事)								□加	盟店			非該当
生可利	能 エ 用	ネル ^は 状	ギー 況						_		再生気の	:可能)受 <i>力</i>	ヒエス	ネル	ギー	一電	Ĺ			る環	環境化	西値
			容点																			
	業業告本お生年業所有範標け可利度	業 新 等 が 新 新 新 新 有 告 囲 準 が の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	業所番 業所等の所在 業所等の所在 業所等の延床 有 形 告 範 告 範 告 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	業所番号 業所等の所在地 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形態 告節囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本だけるの報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の	業所番号A 業所等の所在地 町以 業所等の延床面積 有 形 態 ■	業所番号A 0 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 8 者 節 囲 □ 建物	業所番号A 0 8 業所等の所在地 ボースを	業所番号A 0 8 7 業所等の所在地 「T 1 3 1 町以 4 番 地 立花 業所等の延床面積 8,351.40 業所等の延床面積	業所等の所在地 〒 1 3 1 − 町 2 番 地 立花1− 業所等の延床面積 8,351.40 m ² 者 形 態 目己所有 □ 告 範 囲 □ 建物の全部 □ 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 工場 □ 工場 □ 本標 産業 分類 おける細分類番号 6 9 1 1 i 連 本標準産業分類 6 9 1 1 i 連 おける細分類番号 6 9 1 1 i 連 を可能エネルギー 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー 利 用 状 況 □ 発電設備の設置	業所番号A 0 8 7 3 - マ 1 3 1 - 0 0 では、	業所番号A 0 8 7 3 - 0	業所等の所在地 デ 1 3 1 - 0 0 4 町 2 番 地 立花1-23 業所等の延床面積 8,351.40 m² 事業所等 エネルギー も 節 囲 □ 建物の全部 □ 建物の一部 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 おける細分類番号 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー 日 発電設備の設置 □ 再生 気の	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 業所等の所在地 T 1 3 1 - 0 0 4 3 業所等の延床面積 8,351.40 m² 事業所等の 上 ネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ 全物の全部 □ 建物の一部(を	業所等の所在地 「T 1 3 1 - 0 0 4 3 区 「T A 番 地 立花1-23 基準 所等の 集 所等の 重 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	業所番号A0873-00019 業所等の所在地 「T 1 3 1 - 0 0 4 3 区市 T 2 番地 以	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 9 業所等の所在地 T 1 3 1 - 0 0 4 3 区市町 T 2	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 9 業所等の所在地 「T 1 3 1 - 0 0 4 3 区市町村 町名番地 以 ** *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 9 業所等の所在地 「 1 3 1 - 0 0 4 3 区市町村名 町 名番地 以	業所番号A 0 8 7 3 - 0 0 1 9 業所等の所在地 「 1 3 1 - 0 0 4 3 区市町村名 墨田区 町 名番地 以 ** *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	業所番号A0873-0019 業所等の所在地 T 131-00043 区市町村名 墨田区 ボーン3	業 所 番 号 A 0 8 7 3 - 0 0 1 9 業 所等の所在地 町 A 番 地 以 A 番 地 は A 番 は A B 本 は A A B は A B 本 は A A B は A B 本 は A A B は A B 本 は A A B は A B 本 は A A B は A B 本 は A A B は	業所番号A0873-0019 ***********************************

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 410	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 796	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 7	t
	総計(④=②+③)	^④ 803	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 95.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田田山小川加	推計		/ 十 田目	15. 半L	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,670.8	45.00	165.2	0.0136	8.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,611,398.6	9.76	15,727.3	0.4890	788.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 15,892.4		¹⁵ 796.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	10,777.4			0.2660	2.9
他	公共下水道			m^3	10,777.4			0.4000	4.3
	<u> </u>	合 計				/			¹⁶ 7.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
組	織体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供		
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
工 使	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	1	
<i>(</i>)	/II -V(VC V) 1C JE	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省	運用対策			C802	階段照明の管理手法の検討・実施
エネルギー 対策	設備保守対策				
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	責年度の目標達成 提出年度の地球		□目標達成した。		
月 目	標の有無		無無		
目標	票値等(選択)	ベンチマー	ク区分ラン	CO_2/m^2 CO_2	削減率(前年度比) 9 排出量(総量) t
6	特記事項	C 92 III	70 此事"灰仁" 3分	T C FLU 事以	

1 事業所等の概要

_	* /!*//																							
事	業所	等	の名	称	潮見	見駅	前フ	゚゚ヺ゙゙゙゙゙゚	F—∄	番街														
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	2	0										
					₹	1	3	5	_	0	0	5	2	区	市	町	村。	名江	「東国	<u> </u>				
事	業所	等の	所 在	地	町。	名 番	* 地下	潮見	L2-:	2-1	7													
事	業所等	等の)	延床面	ī積			562	.91	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の - -	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 用 ‡		か 間	1	年度	分] 1 [£]	F未満
所	有		形	態		自己]所	有		■他	者列	뒦												
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		建	物の)—₽	郭(ラ	テナ	ン	ト)			建物	物の-	一部	(そ	の他	ī)
拉	告範囲	I M F	ーたス日	1.2		事務	所					商業	纟施	没(4	物	販)			商	業施証	殳(食	欠食)	
平区	口里吐江	リックユ	ニバング	7 0匹		工場	<u>司</u> 切					複合	施	設					その	の他				
	本 標 おける	細	分類番	号	6	9	1	1		鎖化	(事業	美区 2	分		ļ	直営	店	-	コカ	17盟尼	ij		非	該当
再の	生可能 利	_{とエ} 用	ネルキ 状	· 况				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギー	一電			正書に り利用		環境	き価値	直
前か	年度らる			容点																·				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 75	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 145	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 146	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 257.5	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計		//. III II	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	7,276.0	45.00	327.4	0.0136	16.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	264,830.0	9.76	2,584.7	0.4890	129.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,912.2		145.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,100.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,100.0	/		0.4000	0.8
		合 計				/			1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

ェ 末 用	体制の整備ルギー等の状況の把握	対策番号 A202 B102	温暖化対策推	対策名進担当の配置		対策番 A404		文 ナントへの温明	†策名 爱化対策協力	依頼
ェ 末 用	ルギー等の			進担当の配置		A404	テ	ナントへの温眼	受化対策協力	依頼
ェ 末 用	ルギー等の	B102	関連他者から6							
ェ 末 用	ルギー等の	B102	関連他者からの							
更用 ————————————————————————————————————	ルギー等の 状況の把握	B102	関連他者からの							
更用 ————————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	B102	関連他者からの							
更用 ————————————————————————————————————	状況の把握			つ情報を加えて	把握					
省	W DE O JE DE									
省										
省										
省										
省										
省										
	軍 用 対 策									
エ										
ネル										
ギー										
対 第 記	设備保守対策									
	2 Mil 14 1 2 2 2 1									
討	设備 導入 対 策									
主結合	 年度の目標達成	の状況	□ 目標達成	むした	1					
C/ISK		12.000		70720	1					
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標							
		□有	無無							
		ベンチマー			ランク	C	O ₂ 削	減率(前年度比)	%
目標信	値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC	O_2/m^2	O ₂ 排	出量(総量)		t
	ŀ	その他		特記事項に						
		C 4 > 1 E		11111111111111111111111111111111111111	1,171,5	104%				
;特	記事項									
11	「心ず久									

1 事業所等の概要

Γ.								0 1															
事	業所	等	の名	称	潮身	見駅	前フ	゚゚ヺ゙゙゙゙゙	F — 1	沓街													
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3		0	0	2	1									
					₹	1	3	5	_	0	0	5	2	区	市	町	村。	名江	□東区	<u> </u>			
事	業所	等 σ.)所 在	地	町以以	名 番	F 地 下	潮見	L2-	2-2	0												
事	業所等	等の タ	延床面	ī積			391	.01	m^2	事	業所ネル	「等 レギ	の : 	実 <i>i</i> 使	績	年 用 其		か 間	1	年度分	ì		1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		■他	1者別	桁											
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		建	物の)— [‡]	郭(ラ	ナ	ン	(-)			建物	物の一	部(その	他)
±n	<i>比 炒</i> □	I	- ♪- フ ロ	- \ - \		事務	丽					商業	纟施言	没(5	物	坂)			商美	 能 設	(飲	(食)	
辩	告範囲	100 ±	こにつけ	力还		工場	<u>크</u> 7					複合	施	没					その)他			
	おける	細	分類番	: 号	6	9	1	1			/事美	美区 2	分		Ī	直営	店		□ カ	唱店			非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	レギー	一電			E書に。)利用	はる野	環境化	西値
前か	年度らら	の 報 り <i>変</i>		容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 7	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 13	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 33.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8)×9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	850.7	45.00	38.3	0.0136	1.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜)	間不明の場合を含む。)		kWh	24,154.0	9.76	235.7	0.4890	11.8
規貝	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 274.0		13.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	241.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	241.0	$\overline{}$		0.4000	0.1
	-	合 計				/			0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

ェ 末 用	体制の整備ルギー等の状況の把握	対策番号 A202 B102	温暖化対策推	対策名進担当の配置		対策番 A404		文 ナントへの温明	†策名 爱化対策協力	依頼
ェ 末 用	ルギー等の			進担当の配置		A404	テ	ナントへの温眼	受化対策協力	依頼
ェ 末 用	ルギー等の	B102	関連他者から6							
ェ 末 用	ルギー等の	B102	関連他者からの							
更用 ————————————————————————————————————	ルギー等の 状況の把握	B102	関連他者からの							
更用 ————————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	B102	関連他者からの							
更用 ————————————————————————————————————	状況の把握			つ情報を加えて	把握					
省	W DE O JE DE									
省										
省										
省										
省										
省										
	軍 用 対 策									
エ										
ネル										
ギー										
対 第 記	设備保守対策									
	2 Mil 14 1 2 2 2 1									
討	设備 導入 対 策									
主結合	 年度の目標達成	の状況	□ 目標達成	ひた	1					
C/ISK		12.000		70720	1					
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標							
		□有	無無							
		ベンチマー			ランク	C	O ₂ 削	减率(前年度比)	%
目標信	値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC	O_2/m^2	O ₂ 排	出量(総量)		t
	ŀ	その他		特記事項に						
		C 4 > 1 E		11111111111111111111111111111111111111	1,171,5	104%				
;特	記事項									
11	「心ず久									

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	パト	リア	吾妻	季橋	吉														
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	2	2									
Ī.					Ŧ	1	3	0	_	0	0	0	1	区	市	町	村	名	墨田区				
事	業所	等の	所在	地	町以以	名 番	地 下				-30							_					
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		2	,807	.45	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の 	実 <i>終</i> 使	漬 ! 月	年 月 ‡		の間	■ 1年月	度分] 1年	未満
所	有	,	形	態		自己	引所不	钉		〕他	1者別	桁											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	ーナ	ント	.)			■建物の	一部	3(そ	の他))
却	告範囲	I D -	ーたフロ	1 冷		事務	丽					商業	(施	没(4	勿則	反)			商業施	設(f	飲食)	
羊区	口軋世	リマノゴ	こに公开	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没					〕その他	1			
	本標 おける	細	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	/事業	美区 2	分		直	[営	店		□ 加盟	店		非調	該当
再の	生可能	ドエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電	,	□ 証書の利		環境	色価値	•
前か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 196	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 377	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 379	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 134.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	15,249.9	45.00	686.2	0.0136	34.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(温水)			MJ	112,152.0	1.36	152.5	0.0600	6.7
100	その他(冷水)			MJ	282,980.0	1.36	384.9	0.0600	17.0
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	653,333.0	9.76	6,376.5	0.4890	319.5
規貝	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 7,600.2		¹⁵ 377.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,236.0			0.2660	1.1
他	公共下水道			m^3	4,236.0	/		0.4000	1.7
		合 計							¹⁶ 2.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	地球温	脛	化分等	の事	協出	- シऱ
4	THE PROOF	HAZ (יאי ויא	U ノ ズ	<u>- /mi. a /</u>	ヘイカ

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
組組	織体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供		
		B101	白と1五寸牝れ棲却に甘べ/加根		
エ :	ネルギー等の		自ら入手可能な情報に基づく把握		
使力	用状況の把握	D102	関連他者からの情報を加えて把握		
	I	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
	運用対策				
省					
エネ					
ルル					
ギ					
 対					
第	設備保守対策				
	ļ				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無無					_
	ベンチマーク区分	ラ	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg	$g-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容	容を記載	-	-	

6 特記事項

- 今夏の節電対策 ・共用部の照明と清掃人室
- ・メンテナンス室・事務所の照明間引き。(約4割)
- ・空調の設定温度を、28度に設定。 ・共用部の不在時照明はこまめに消すよう、貼り紙。

令和2年2月から飲食店が入店し、エネルギー使用量が増加している。

1 事業所等の概要

	* / 1 * / /																							
事	業所	等	の名	称	パト	リア	葛西	店																
<u> </u>																								
事	業	所	番	号	Α	0	8	7	3	_	0	0	2	3										
Ľ	7.4	// !													_									
					₹	1	3	4	_	0	0	8	7	区	市	町	村	名》	エ戸ノ	川区				
事	業所	等の	所在	地		名 番	: 																	
					以	н ш	地下	清新	町1															
_	ᆀ스 그는 산	<i>k</i>	<i>x</i> + -	- 1±		0	050	4.5	2	事	業 所	í 等	(T)	実績	績	年	度	\mathcal{D}		F 15	^\	_	_ ,	F 4 1#
争	業所等	皇 (/) 5	些 床] 稹		8	,856	.45	m²	H	ネ ル	レキ	<u> </u>	使	<u> </u>	月月	胡	間		年度	分	L	_ l	年未満
所	有		形	態		自己	所	有		〕他	者列	f有												
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ント	·)			建!	物の-	一部	ડ(ર	· のfi	<u>11</u>)
4.11	44 66 17		.) п	7.10		事務	骄					商業	纟施言	没(4	物則	反)			商	業施	設(£	欽食	£)	
報	告範囲	の王	こたる月	多		工場	1					複合	· 描言	小				П	70	の他				
┢	本 標)性 立	5 张 八	、米石		_L-7//	U					次	I DEL							// [[
1 ' '	かける				6	9	1	1	連	鎖化	(事美	美区?	分		<u>[</u>	「営	店			加盟原	店		■ ∌	丰該当
	生可能					五生	可能	エネ	ルギ		_	再生	: 可能	2 2 2 2	ネル	/ギー	一雷		_ [正書に	・トス	·環·	音価	値
の	一利	用	状	況				の設				気の			1/*	,				の利用		7-2/K:	/	
1	F 55	⊕ ±r	1 # J	جاير .																				
	年度																							
か	60	り変	更 更	点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 660	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1,282	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 6	t
	総計(④=②+③)	④ 1,288	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 144.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日三 (1) 1 (1)	推計			1 Nr.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	85,113.9	45.00	3,830.1	0.0136	191.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	2,231,336.4	9.76	21,777.8	0.4890	1,091.1
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 25,608.0		1,282.1
その				m^3	9,093.8			0.2660	2.4
他	1 1 1 344			m^3	9,093.8	/		0.4000	3.6
		合 計				/			6.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

	<u>吧坏価吸孔外外</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
幺日 幺	職体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
水丘	取 仲 同 ジ 歪 浦				
) 18 AA D	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 目状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
	11 1/1 1/2 1/2 1/2	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C113	中間期における外気冷房の実施
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
省		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
エ		C805	中央熱源機器等の季節設定実施	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ネ				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
ルギ				C806	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	以拥体与对外	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
	以用等八刈水	E114	高効率パッケージの採用	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
		E123	トップランナー機器の採用	E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無						
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg}{\rm -CO_2/m^2}$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)				
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

- ①空調設備の温度設定の徹底及びフィルター等の点検・清掃 ②共用部等の照明の間引き及び不使用エリアの消灯の徹底 ③テナント等への情報の提供及び協力体制の確立

1 事業所等の概要

事	業	所《	等(り名	称	光太	が丘	IMA	東飢	自														
事	業	Ē J	折	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	2	4									
						Ŧ	1	7	9		0	0	7	2	区	市	町	村:	名	練馬区				
事	業別	近 等	の	所 在	地	町。以	名 番	* 地 下	光が	丘2									_					
事	業所	等(の延	床面	ī積		11	,530	.47	m^2	事	業	「等 レキ	の : 	実 <i>終</i> ・ 使	漬 ¹ ! 用	手 <i>j</i>		の 間	■ 1年度	分		1 ^左	F未満
所		有	Ŧ	肜	態		自己]所	有] 他	1.者页	斤有											
報		告	韗	亱	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	テナ	ント)			■建物の-	一部	(そ)	の他	Ī)
చ్	告範	$\mathbb{H} \sigma$));	トス日	子之		事務	新					商業	纟施言	設(4	物則	į)			商業施	設(食	欠食)	
干区							工場	<u>司</u>					複合	施	設					こその他				
	おけ	る糸	田分		号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業				·	[営			□ 加盟/	店		非	該当
再の	生可利		エ <i>ネ</i> 目	:ルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生気の	:可能 :受入		ネル	ギー	-電		□ 証書に の利用		環境	适価値	直
前か	年月ら	ぎの の	報変	告 内 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	297	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	577	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	5	t
	総計(④=②+③)	4	582	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	50.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) @=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	35,226.8	45.00	1,585.2	0.0136	79.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,019,206.0	9.76	9,947.5	0.4890	498.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 11,532.7		¹⁵ 577.4
その	水道及び工業		m^3	7,999.0			0.2660	2.1	
他	· // 11. 一 1. /			m^3	7,999.0	/		0.4000	3.2
			/			¹⁶ 5.3			

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	宝施状况
-	71,2%(7111111111111111111111111111111111111	ロュカロ かと マン	 // // // // // // // // // // // // //

	地球温暖化对床	The second secon	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
∜□ %	並み割の敷供	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
和上升	織体制の整備				
	L , 12 th o	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	11 1/1 1/2 1/2 1/2 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C806	その他設備の不使用時の停止
		C801	共用部照明のフロアごとの管理		
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
**	HX NII PK 1 7/1 7K				
	 設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無無				
	ベンチマーク区分	ラン	ンク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	容を記載		

6 特記事項

夏の節電対策について 目標:昨年と同等の節電を実施

- 具体的な節電対策 ①照明の間引き実施(全体の約20%) ②室内温度の28℃の徹底

1 事業所等の概要

	* / 1 * /																	
事	業産	等	の名	称	光太	近丘	IMA	南飢	官									
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	2	5				
					Ŧ	1	7	9	_	0	0	7	2	区ī	† 町	村名	4 練馬区	
事	業所	等 0)所 在	土地	町。以	名番	* 地 下	光が	5丘3									
事	業所等	等の	延床面	重積		9	,922	.93	m^2		業			実 績 使	責年 用:	度 <i>0</i> 期 間		□ 1年未満
所	有	Ī	形	態		自己]所	有] 他	1者月	斤有						
報	· 告	<u>.</u>	範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—‡	邪(ラ	ーナン	/ト)		■ 建物の一部(そ	その他)
- 共口	告範囲	1 M F	トたスト	日次		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□ 商業施設(飲力	食)
羊区	(口里)因	ゴマノヨ	こにのと	力还		工場	<u>司</u>					複合	施	没			■ その他	
日に	おける	5細	産業分 分類 番	子号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)				直営		□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能	能エ 用	ネル ^ュ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の	可能受入	エネ 、	ルギ	一電	□ 証書による環の利用	境価値
前か	年度、らい		设 告 内 変 更	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	378	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	719	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	5	t
	総計(④=②+③)	④	724	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	72.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	P(10) () (1)	田東在小山	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	小数 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	22,177.0	45.00	998.0	0.0136	49.8
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(温水)			MJ	626,706.0	1.36	852.3	0.0600	37.6
2003	その他(冷水)			MJ	1,257,802.0	1.36	1,710.6	0.0600	75.5
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,137,744.0	9.76	11,104.4	0.4890	556.4
規貝]第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽¹⁴⁾ 14,665.3		⁽¹⁵⁾ 719.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,906.0			0.2660	2.4
他	· 八 1. · · · · · · · · ·			m^3	8,906.0	/		0.4000	3.6
		合 計				/			5.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	実施狀況
_	FIGURE IIII, FVX	11 1/11 218 4 2	フェルドリハコハ

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
公日 幺	織体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
小口.	取件的少金油				
~~ ·	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ポルギー 寺の用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
/	77 77 71 72	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C806	その他設備の不使用時の停止
		C801	共用部照明のフロアごとの管理		
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
	運用対策				
省					
工					
ネル					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	 設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
來	以				
	 設備導入対策				
	ISO MILITARY OF THE				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

夏の節電対策について 目標:昨年と同様の節電を実施

- 具体的な節電対策 ①照明の間引き実施(全体の約15%) ②室内温度28℃の徹底

1 事業所等の概要

	7 /1~/		- 100																		
事	業彦	デ 等	の名	称	西国	国分	寺レ	゚ガ													
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	2	7							
					Ŧ	1	8	5	_	0	0	2	4	区	市町	村	名国纪	分寺市			
事	業所	等 0)所 在	土地	町夕以	名 番	i 地 下	泉町	13-	35-	1						_				
事	業所	等の	延床面	面積		15	,427	.60	m^2		業				責年 用:		の 間	1年度	分		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	所	有] 他	1者原	桁									
報	芒	i i	範	囲		建物	カの 🔄	全部] 建	物の)—‡	郭(ラ	テナン	/ト)		■ 3	建物の-	一部	(その)他)
去以	告範囲	∃ か i	ニたスE	日冷		事務	骄					商業	羊施詞	没(牝	物販)			商業施	設(飲	(食)	
+IX		コマンコ	-1-70)	11 👁		工場	∃ 7					複合	施	設			;	その他			
に	本 標 おける	5細2	分類番	争号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	美区 2	分		直営	店		加盟原	吉		非該当
再の	生可能	能工 用	ネル ^ュ 状	デー 況				ミエネ 背の設	ルギ 置	_		再生 気の			ベルギ	一電		証書に の利用		環境(面值
前か	年度らい		设 告 内 定 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 778	3 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1,510) t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	l t
	総計(④=②+③)	(4) 1,522	l t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 97.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		-四重4~111/1	推計		//. III II	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
.[+].	都市ガス			Nm^3	96,634.5	45.00	4,348.6	0.0136	216.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	2,646,234.0	9.76	25,827.2	0.4890	1,294.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 30,175.8		1,510.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	17,961.0	/		0.2660	4.8
他	公共下水道			m^3	17,961.0	/		0.4000	7.2
		合 計				/			12.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	実施狀況
_	FIGURE IIII, FVX	11 1/11 218 4 2	フェルドリハコハ

$\frac{4}{}$	地球温暖化对策	マッチ地が			and the testing
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
ψπ «	かみまる軟件			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組 1	職体制の整備				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握		関連他者からの情報を加えて把握		
(世)	11 人 亿 少 12 1全				
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C801	共用部照明のフロアごとの管理		
	運用対策				
15					
省工					
ネ					
ルギ					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	設備導入対策				
			l	i .	

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に	内容を記載		

6	特記事項
()	

平成27年2月12日付「26環都総第932号」により特定地球温暖化対策事業所から変更となった。平成30年度は共用部の 照明LED化を実施している。

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	新者	都市	ライ	フホ	一 ル	/デ/	ヘンク	ブスス	卜社						
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	2	8					
					Ŧ	1	6	3	-	0	0	3	1	区ī	节町:	村 名	新宿区		
事	業所	等 0	所在	地	町。以	名 番	ទ 地下	西新	宿6	-8-	-1 🔻	新宿さ	ナー:	クタワ	'-10F	ī			
事	業所等	争の多	延床面	ī積		1	,817	.96	m^2		業				責年 <i>[</i> 用 其				1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		■他	1.者页	桁有							
報	告		範	囲		建物	物の全	全部		■ 建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)	[□ 建物の一部	鄒(その	他)
共口	北	I か →	ナーフロ	1 ンク		事務	新					商業	(施	没(物	7販)	[□ 商業施設	(飲食)	
羊区	告範囲	リリナ	:たる月	1 述		工場	景					複合	施調	没		[□ その他		
	本 標 おける	細	分類番	号	6	9	0	0	連	鎖化	/事	業区 2	分		直営	店	□ 加盟店	=	非該当
再の	生可育	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ルギー	電	□ 証書によ の利用	る環境値	插值
前か	年度らり			容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 35	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 68	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<a>4 68	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 37.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			1 Nr.1	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	小奴 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	141,061.0	9.76	1,376.8	0.4890	69.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,376.8		69.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	0.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	0.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の	実施狀況
_	FIGURE IIII, FVX	11 1/11 218 4 2	フェルドリハコハ

	地球温暖化对床		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A208	組織横断的な推進体制の整備
火口 ダ	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
자土. 月	戦性前の登場			A216	所内会議・研修会等で報告
	4 1 H A A	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
1~ /	13 47 60 -> 10 92	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ボギ					
1					
対策	設備保守対策				
來	展 牌 水 寸 刈 水				
	】 設備導入対策				
	IN THE TAXABLE PROPERTY.				

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無無				_
	ベンチマーク区分	ランク	ZO ₂ 削	減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-C	$\mathrm{CO}_2/\mathrm{m}^2$ CO_2 排	出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容	を記載		

6 特記事項

- ①昼休み時間、その他の時間の消灯の励行(約5分の1を消灯) ②各月の使用量の迅速な把握、分析による省エネの意識付け ③クールビズの拡大実施(5~10月)

1 事業所等の概要

事	業所		の名	称	ルミ	ナフ	古	羊寺	:														
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	2	9									
					₹	1	8	0	_	0	0	0	4	区	市	町	村	名 武庫	5野市				
事	業所	等 ∅	所 在	地	町 以	名 番	地下	吉祥	寺本	町2	丁目8	8番9	号										
事	業所等	筝の タ	延床面	ī積			330	.09	m^2	事	業 所 ネ ル	「等 レギ	の 	実 á 使	漬 ′ [月	年月		の 間	1年度	分		1年	未満
所	有		形	態		自己	別所不	有		〕他	者別	桁											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	ント)		口質	生物の-	一部	(そ	の他))
報	告範囲	の主	たる用	建		事務						商業			物則	反)			新業施 (設(負	次食)	
<u>_</u>	- I - I - T	NA -	* MC */	Ver		工場	ਹੋ					複合	· 他 i	爻					その他				
に	本 標 おける	細	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		直	Í営	店		加盟/	吉		非詞	該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	· 況			可能 設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電		証書に の利用		環境	価値	•
前 か	年度らる	の 報 り <i>変</i>		容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	50 kl	
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	97 t	
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1 t	
	総計(④=②+③)	4	98 t	
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 293	8.8 kg-CO ₂ /n	n ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
	都市ガス			Nm^3	14,962.8	45.00	673.3	0.0136	33.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
が	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	130,742.9	9.76	1,276.1	0.4890	63.9
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,949.4		97.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,978.5			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	1,978.5			0.4000	0.8
	<u> </u>	合 計				/			1.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

対策番号 対策名 対策番号 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 A404 テナントへの温暖化対策協力的 和組織体制の整備 エネルギー等の使用状況の把握 B102 関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー使用量の前年度比較 選用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 正本を表現した。 「担任度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ニンナマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	対策番号 対策名 対策名 対策名 対策名			で実施状 	玄 点重				その他対策	· ·
組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較	組織体制の整備 B102 関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー使用量の前年度比較 B105 エネルギー使用量の前年度比較 カカカ 策 酸 備 導 入 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 導 入 対 策			対策番号			対策	番号		
組織体制の整備 エネルギー等の 使用 状況の把握 B102 B105 エネルギー使用量の前年度比較 エネルギー使用量の前年度比較 変備保守対策 設備保守対策 設備保守対策 設備です対策 設備です対策 設備ですが策 設備ですが策 表になる。 表には、表には、表には、表には、表には、表には、表には、表には、表には、表には、	組織体制の整備 エネルギー等の 使用 状況の把握 選 用 対 策 省エネルギー使用量の前年度比較 選 用 対 策 設備保守対策 設備保守対策 設備です対策 とは、			A202	温暖化対策推	進担当の配置	A4	04	テナントへの温暖	化対策協力依賴
正ネルギー等の 使用状況の把握 選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 シーロー有 単無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) にの2,排出量(健床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総載)	正ネルギー等の 使用状況の把握 選用対策 資本ネルドー 設備保守対策 設備保守対策 設備保守対策 設備場入対策 設備導入対策 記機工業の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) CO ₂ 排出量(健床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)	組糸	織体制の整備	A204	取組状況の点	検体制の構築				
正ネルギー等の 使用状況の把握 選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 「Rg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総数)	正ネルギー等の 使用状況の把握 選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備の有無			B102	関連他者から	 の情報を加えて				
運用対策 選用対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 表標年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ペンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) に交換・大の2排出量(延米面積当たり) 「ならしての2排出量(金米面積等) 「ならしての2排出量(金米面積を)) 「ならしての2排出量(金米面積を))	運用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 表標年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ペンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) に交換・大の2排出量(経験面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	エン	ネルギー等の	DIAE						
省 エネルルギョカ 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 表	省エネルルギョカ教策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 表表によって、	史 /	用状况の把握							
省 エネルルギョカ 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 設備導入対策 表	省 エネルルギョカ 設備保守対策									
省エネルルギー 対策 設備得入対策 設備導入対策 設備導入対策 表情年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 CO2排出量(経味面積当たり) 「Q2排出量(経味面積当たり) 「Q2排出量(経験面)	省エネルルギー 対策 設備等入対策 設備導入対策 設備導入対策 表情年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 CO2排出量(選択) 両が、		 運 用 対 策							
正 ネルギー 対策 設備保守対策	正 ネルギー 対策 設備保守対策	省								
ルギー 対策 設備導入対策 設備導入対策 表稿年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量)	ルギー 対策 設備導入対策 設備導入対策 支持年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) にO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量)	工								
日標値等(選択) 日標 (場別) 日標 (日標 (場別) 日標 (日度 (場別) 日標 (日度	日標値等(選択) 日標達成の状況 日標 (議択) 日標 (選択) 日標 (選択) 日標 (202 排出量(経験面積当たり) 12	ル								
策 設備保守対策 設備導入対策 妻績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	策 設備保守対策 設備導入対策 (表達成の状況 □ 目標達成した。) (表述の目標達成の状況 □ 目標達成した。) (表述の目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ○ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※]								
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	策	設備保守対策							
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)									
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		=n /# \\							
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		設備導入对策							
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)						<u> </u>			
目標の有無□ 有 ■ 無	目標の有無□ 有 ■ 無	実績	責年度の目標達成	の状況	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	載した。				
ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) kg-CO2/m² CO2排出量(総量)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)		提出年度の地球			-				
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)						_	1		1
-									削減率(前年度比)	9
その他特記事項に内容を記載	その他特記事項に内容を記載	目	標の有無	ベンチマー	ク区分		_			
		目	標の有無	ベンチマー	ク区分		_		排出量(総量)	t
o 바ㅋㅋㅠ		目	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分		$\mathrm{kg\text{-}CO_{2}/m^{2}}$		排出量(総量)	1
7	7	目標	標の有無票値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分		$\mathrm{kg\text{-}CO_{2}/m^{2}}$		排出量(総量)	
		目標	標の有無	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分		$\mathrm{kg\text{-}CO_{2}/m^{2}}$		排出量(総量)	
		目標	標の有無票値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分		$\mathrm{kg\text{-}CO_{2}/m^{2}}$		排出量(総量)	1
平成27年11日取得	平成27年11月 取得	目目標	標 の 有 無票値等(選択) 特記事項	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分		$\mathrm{kg\text{-}CO_{2}/m^{2}}$		排出量(総量)	1
平成27年11月取得。	平成27年11月取得。	目目標	標 の 有 無票値等(選択) 特記事項	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分		$\mathrm{kg\text{-}CO_{2}/m^{2}}$		排出量(総量)	1
平成27年11月取得。	平成27年11月取得。	目 目標	標 の 有 無票値等(選択) 特記事項	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分		$\mathrm{kg\text{-}CO_{2}/m^{2}}$		排出量(総量)	t

1 事業所等の概要

	7 /1~/		- 100	·														
事	業彦	デ 等	の名	称	アー	- <i>ハ</i> レ	有青	£Щ										
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	3	0			111	
					Ŧ	1	0	7	_	0	0	6	2	区	市町	村	名 港区	
事	業所	等の	所在	:地	町以以	名番	F 地 下	南青	計山3	-50								
事	業所等	等の	延床面	面積			773	.58	m^2		業				責 年 用:		か ■ 1年度分 □	1年未満
所	有	Î	形	態		自己	1所7	有] 他	1.者页	Ff有						
報	芒	î	範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の一部(その	他)
土口	生然 国	□	ーナフロ	口公		事務	所					商業	纟施	没(物	勿販)		□ 商業施設(飲食)	
쒺	古耶世	日クノヨ	こたる月	†b		工場	크 7					複合	施	設			■ その他	
に	おける	る細さ	€ 業 分 分 類 番	争号	6	9	1	1	連	鎖化	/事	業区 2	分		直営	店	□ 加盟店 ■	非該当
再の	生可利	能エ 用	ネルコ 状	デー 況				ミエネ 背の設	ルギ :置	_		再生 気の			ベルギ	一電	□ 証書による環境値 の利用	田値
前か			设 告 内 変 更	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 37	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 72	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 73	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	93.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田 4 1 4 1 4 1 4 1 4	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	2,238.8	45.00	100.7	0.0136	5.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	138,803.0	9.76	1,354.7	0.4890	67.9
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,455.5		¹⁵ 72.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,585.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,585.0			0.4000	0.6
		合 計							1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

		その実施場 	重点 友	·策			その他対策	
		対策番号		対策名		対策番号		 名
		A202	温暖化対策推	進担当の配置	<u> </u>	A404	テナントへの温暖化	対策協力依頼
√ □ €	歩み割の敷供	A204	取組状況の点	検体制の構築	AFF.			
作出. 祚	は体制の整備							
エジ	ネルギー等の	B102	関連他者からの					
使月	用状況の把握	B105	エネルギー使	1単の削牛皮				
	運用対策							
省								
エ								
ネル								
ギー								
廿								
策	設備保守対策							
	設備導入対策							
			<u> </u>					
実績	手度の目標達成	の状況	□□目標達成	成した。				
5 <u>‡</u>	是出年度の地球	┆温暖化☆	*策の日標					
	標の有無		無無]				
		ベンチマー	ク区分		ランク	CC	02削減率(前年度比)	9
目標	厚値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CO	o_2/m^2 CC	02排出量(総量)	t
		その他		特記事項	ア内穴を	記載		<u>-</u>

1 事業所等の概要

	- / / -/																	
事	業彦	等	の名	称	目点	具中	町ド	リー	ムビ	シル								
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	3	1			_	
					Ŧ	1	5	3	_	0	0	6	5	区区	† 町	村名	1 目黒区	
事	業所	等 0	所在	地	町以	名 番	* 地 下	中町	↑1 —								_	
事	業所	等の.	延床面	積			419	.50	m^2		業			実 績 使	責年 用	度 <i>の</i> 朝 間		□ 1年未済
所	有	•	形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁					_	
報	: 告	1	範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)—≒	郭(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の一部	3(その他)
共口	告範囲	1 m -ì	ーたフロ	口公		事務	新					商業	纟施言	没(物	か販)		□ 商業施設(1	飲食)
羊区	口軋因	コマノコ	ニたるカ	力还		工場	景					複合	施	没			■ その他	
日 に	おける	5細	€ 業 分 分 類 番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)				直営		□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可育	能エ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の	.可能 受入	ニエネ	ルギー	一電	□ 証書による の利用	5環境価値
前か	年度らら		设 告 内 変 更	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	31	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	60	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	0	t
	総計(④=②+③)	4	60	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	143.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田田 4 1 4 1 4 1 4 1 4	推計		4. m B	17 W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8)×9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	6,366.4	45.00	286.5	0.0136	14.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	95,249.0	9.76	929.6	0.4890	46.6
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,216.1		60.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,337.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,337.0			0.4000	0.5
		合 計							0.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

			重点文	 }策				その他対策	 衰	
		対策番号		対策名		対策番	号			
		A202	温暖化対策推	進担当の配置		A404	: テ	ナントへの温暖	化対策協力依	頼
./sm .	(d) / 1. (d) ~ = +6 /#	A204	取組状況の点	.検体制の構築						
組	織体制の整備									
		B102	関連他者から	の情報を加えて	て把握					
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度	比較					
) (用从优切允货									
	運用対策									
省										
工										
ネ										
ルギ										
]										
対	設備保守対策									
朿	以佣床与对水									
	 設備導入対策									
	以 师 サバハ 水									
宝丝	 責年度の目標達成	- 小牛油	□目標達	<u></u> ぱ) た	٦					
大小	貝十尺少日伝達成	.V 74/\{1/L		及した。						
5	提出年度の地球	き温暖化薬	†策の目標							
<u>—</u> 目	標の有無		無無]						
		ベンチマー	-	<u> </u>	ランク	(CO ₂ 削i	咸率(前年度比)		9
	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CO			出量(総量)		t
目相		-		特記事項に			- 2011			
目標				一川町子がに	-L144.5	口甲以				
目核		その他								
	供包束項	その他								
	特記事項	ての他								
	特記事項	その他								
	特記事項	ての他								
	特記事項	その他								
	特記事項	ての他								
	特記事項	その他								
6	特記事項 ^{29年8} 月取得。	その他								
6		その他								
6		その他								

1 事業所等の概要

事業所等の名称 第一エリア経営部 事業所等の所在地 町名番地 以 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 - 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 - 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 - 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 - 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 - 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 - 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 「170.10 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 「日本原本の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 報告範囲の主たる用途 「国 2 特の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 「 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 七の他 日本標準産業分類 「エ場 □ 複合施設 □ その他 日本標準産業分類 「下 1 0 1 - 0 0 0 2 5 区市町村名 「 市業商業の主意の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 「 市業・一部では、「大の一部では、「大の一部では、「大の一部では、「大の一)では、「大の一)では、「大の一)では、「大の一)では、「大の一)では、「大田区 「 市業・一)では、「大田区 「 市業・「本語・「大田区 「 1 1 0 1 - 0 0 0 2 5 区市町村名 「 1 2 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0		- / 1 - / /																						
事業所等の所在地 「T 1 0 1 − 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 − 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 − 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 − 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の延床面積 「T 1 0 1 − 0 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の実績年度の 「エネルギー使用期間 「T 1 0 1 − 0 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の変換を表現。 「T 1 0 1 − 0 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の変換を表現。 「T 1 0 1 − 0 0 0 2 5 区市町村名 千代田区 事業所等の変換を表現。 「国際の一部(テナント) 「関連物の一部(その他) 事務所 「	事	業所	等	の名	称	第一	- エ]	リア	径営	部														
事業所等の所在地 町名番地 以名番地 で	事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	3	2									
取							1	0	1	_	0	0	2	5	区	市	町	村	名	千代田区	<u> </u>			
Trans Trans	事	業所	等 ₫	所 在	地		名 番	· 地 下	神田	佐久	、間町	3-17	' オオ	<i>j</i> タビ	`ル3	階								
報 告 範 囲 □ 建物の全部 ■ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 報告範囲の主たる用途 ■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他 日 本 標 準 産 業 分 類 における細分類番号 6 9 0 0 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当 再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値の利用 前 年 度 の 報 告 内 容	事	業所等	等の タ	延床面	ī積			170	.10	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の : 	実 <i>i</i> ・使	績 [〕	年月月			■ 1年	度分] 1 ⁴	手未満
報告範囲の主たる用途 ■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 技 日本標準産業分類 における細分類番号 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 前年度の報告内容	所	有	•	形	態		自己	所	钉		■他	1者列	桁											
報告範囲の主たる用途 □ 工場 □ 複合施設 □ その他 □ 本標準産業分類 6 9 0 0 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 証書による環境価値の利用 前年度の報告内容	報	告		範	囲		建物	カの全	全部		建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ	ント	·)			〕建物の	り一音	ß(そ	の他	1)
日本標準産業分類 6 9 0 0 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値の利用 ま の利用 ポ 況 □ 系電設備の設置 □ 気の受入 □ 面営店 □ 加盟店 ■ 非該当	報	告範囲	の主	こたる月	建											物具	反)					飲食	£)	
の利用状況 発電設備の設置 気の受入 の利用 前年度の報告内容	に	おける	細	分類番	号	_			0	連	鎮侃					لِ ا	直営	店					■非	該当
	1										_					ネル	ギ	一電	Ì			5環均	竟価値	直

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 3	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 5	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 5	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 29.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の) 新別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	WW.1 1.1 *>	1 主从 1	使用	7-12	6	7	(3)/ (8)=(6)/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
.[4]	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
#\\	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
_^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	12,199.0	9.76	119.1	0.4890	6.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 119.1		6.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	101.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	101.0	/		0.4000	0.0
		合 計				/			0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点交	策			その他対策	
		対策番号		対策名	対策	番号	対策名	
		A202	温暖化対策推	進担当の配置				
ሳ π ‹	** 仕 **! の ***							
組箱	戦体制の整備							
,		B101	自ら入手可能を	な情報に基づく把握				
エィ	ネルギー等の 月状況の把握	B102	関連他者からの	の情報を加えて把握				
IX /I	11 4/7 1/1 0/2 1/1 1/1							
		C101	空室•不在時等					
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変更				
		C114	事務用機器を	省エネモードに設定				
	運用対策							
省								
日エ								
ネ								
ルビ								
ギー								
妆								
策	設備保守対策							
-								
	設備導入対策							
実績	手度の目標達成	の状況	□目標達成	成した。				
			!					
5 技	是出年度の地球	え温暖化え	策の目標	_				
目	標の有無	□有	無無					
		ベンチマー	- ク区分	ラン	ク	CO_2	削減率(前年度比)	9
目標	原値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-0	CO_2/m^2	CO_2	排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容				
		C 47 E		11 11 7 7 7 1 1 1 1	C 110 4X			
6 ‡	特記事項							
U 1	可此事例							

1 事業所等の概要

	3 /10//		- 100																				
事	業所	等	の名	称	パー	ークミ	ノテ	イ武	蔵小	小川,	 ずモ、	ール	/										
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	3	3									
					₹	1	4	2	_	0	0	6	2	区	市町	- 村	名	品川[<u> </u>				
事	業所	等 の	所有	E 地	町以	名番	i 地 下	小山	13丁	目15-	-1						_						
事	業所等	きの き	延床	面積		1	,254	.20	m^2						責 年 用		の 間	1	年度分	分		1年5	未満
所	有		形	態		自己	別所	有] 他	1.者所	桁											
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ ト)] 建	物の-	一部	(その)他)	
共口	告範囲	ω÷	ーたスト	田冷		事務	骄					商業	(施	没(物	勿販)			商	業施設	殳(食	饮食)		
常区	口軋团	Vノ土	=/この/	中述		工場	3 7					複合	施	没] そ(の他				
に	本 標 おける	細	分類者	番号		9	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		直営	當店			加盟尼	115		非該	と当
再の	生可能	ピエ 用	ネル st 状	ギー 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の			ベルギ	一電	Ì		証書に の利用		環境	価値	
前か	年度ら				細分 (690				の変	化に	ー 合わ [、]	せ変	更。										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 110	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	213	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	4 214	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 169.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	4,902.9	45.00	220.6	0.0136	11.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	414,729.0	9.76	4,047.8	0.4890	202.8
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,268.4		⁽¹⁵⁾ 213.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,904.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	2,904.0	/		0.4000	1.2
	·	合 計				/			1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点文	策			その他は	対策
		対策番号		対策名		対策番号	7	対策名
8日 糸	職体制の整備	A202	温暖化対策推	進担当の配置		A404	テナントへの温	显暖化対策協力依頼
P.D. //	は 平 門 ジ 走 浦							
エン使り	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの	の情報を加えて	把握			
省	運用対策							
エネルギー								
 対 策	設備保守対策							
	設備導入対策							
実 績	賃年度の目標達成	の状況	□目標達成	成した。]			
5 ÷	提出年度の地球 標 の 有 無		対策の目標 ■ 無		_			
		ベンチマー	-ク区分		ランク	C)2削減率(前年度	比) %
目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC		02排出量(総量)	t
		その他		特記事項に	内容を	記載		
3 :	特記事項							
∆±⊦	1元年11月取得。							
li,↓ r								
口 [·] 朴								

1 事業所等の概要

事	業所		の名	称	SH	UK	.NC	VΑ													
事	業	所	番	号	А	0	8	7	3	_	0	0	3	4							
					₹	1	6	0	_	0	0	2	3	区	市	町	村	名	新宿区		
事	業所	等 ∅	所 在	地	町夕以	名 番	· 地 下	西新	宿二	丁目											
事	業所等	等の)	延床面	ī積		1	,233	.29	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の - -	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 刊 :		の 間	□ 1年度分		1年未満
所	有		形	態		自己	別所	有		〕他	1者列	桁									
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)— [‡]	郭(ラ	ーナ	ン	\)] 建物の一	部(そ	の他)
华口	告範囲	I M F	- たて日	1 1/2		事務	骄					商業	纟施	没(5	物	坂)] 商業施設	(飲食)
常区	口軋世	リマノゴ	こにの月	1 述		工場	3 7					複合	施	設					〕その他		
	本 標 おける	細	分類番	号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		Ī	直営	·店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	_{とエ} 用	ネルキ 状	· 況				ピエネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネバ	レギ・	一電	,	□ 証書によ の利用	る環境	适価値
前か	年度らる			容点	対象	事業	所の	追加]。												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 70	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 136	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 110.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		四重4小川	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	3,189.0	45.00	143.5	0.0136	7.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	263,493.0	9.76	2,571.7	0.4890	128.8
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,715.2		136.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,507.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,507.0			0.4000	1.0
		合 計				/			1.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策		重点対	 			その他対策	ŧ
		対策番号		対策名	対策	番号	対分	
		A202	温暖化対策推	進担当の配置	A4	04	テナントへの温暖化	ヒ対策協力依頼
⁄п -	※ 仕 畑 ぁ 藪 供	A204	取組状況の点	検体制の構築				
(祖)	織体制の整備							
т	ネルギー等の	B102		の情報を加えて				
吏	用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度と	上較			
	I							
	運用対策							
省								
工								
ネル								
ルギ								
추+ 								
対策	設備保守対策							
	設備導入対策							
± 4		- M44の:	□目標達原	+1 <i>t</i> -	1			
天市	貝午及の日保達成	<i>四</i> 水水		及した。]			
5	提出年度の地球	は温暖化す	対策の目標					
1		□有	無無		_		_	
		ベンチマー	 ウ区分		ランク	CO_2	削減率(前年度比)	
目核	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO_2	排出量(総量)	
		その他		特記事項に	内容を記載		-	-
3	特記事項							
令乖	口2年7月取得。							
令禾	口2年7月取得。							
令乖	口2年7月取得。							